一般演題　11月6日（木）

第3会場（大阪国際会議場 8F 801+802）

1　11月6日（木）　13:40～14:50　慢性期医療・治療①

【座　長】長瀬正徳　陵北病院　副院長　医師
【評価者】木原真一　志田病院　介護保険部　部長　介護職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
1-1	和田　浩治	医師	大分県	和田病院	当院における高齢者の尿路結石による閉塞性腎盂腎炎についての検討
1-2	和田　純治	医師	大分県	和田病院	当院における完全直腸脱を有する高齢患者の積極的治療介入についての検討
1-3	古谷　敬三	医師	愛媛県	南高井病院	療養病床の新型コロナウイルス感染症 28 例の予後および望まれる対策
1-4	恵美　宣彦	医師	愛知県	並木病院	急性期病院から当院に転院したがん患者（固形がん、造血器腫瘍）の実績解析
1-5	近内　光代	看護師	福島県	福島寿光会病院	末梢リンパ球数は生存期間の予測因子となりえるか：386 例による追試検討
1-6	富松　聡子	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	療養病院 A 病棟の患者、またはそのキーパーソンの終末期の延命治療意思表明と知識との関連について
1-7	野本　来実	理学療法士	東京都	緑成会病院	頚髄症術後に歩行能力改善を目指した症例―療養病棟での理学療法の取り組み―

2　11月6日（木）　15:00～16:10　慢性期医療・治療②

【座　長】石川明美　千里リハビリテーション病院　診療部　診療副部長　医師
【評価者】浅田孝一　小林記念病院　特養安城　事務部　部長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
2-1	奥田　桂介	看護師	東京都	牧田リハビリテーション病院	看護師、看護補助者が行う毎日の関節可動域訓練（ストレッチング）の効果
2-2	桑島　慎太郎	介護福祉士	山梨県	恵信甲府病院	ストレッチによる腰痛予防軽減の有効性について
2-3	古関　翔	介護福祉士	秋田県	外旭川病院	療養病棟におけるケアの質向上に向けた取り組み～オムツ交換回数削減を通して～
2-4	久原　円	看護師	福岡県	恵光会原病院	透析患者に対する食事制限とスタッフの介入～患者本人と家族への関わり方～
2-5	大澤　淳	看護師	富山県	富山城南病院	中心静脈栄養による肝機能障害の改善と経口栄養併用の関連について
2-6	柴﨑　淳子	看護師	神奈川県	湘南慶育病院	食事前の手洗い・うがい・口腔体操実施による幸せホルモンの増加
2-7	後藤　貴浩	臨床心理士	宮城県	西仙台病院	慢性期入院患者に対する新しい認知機能評価バッテリーの提案―予備的検討―

3　11月6日（木）　16:20～17:20　感染症

【座　長】正木路加　千里リハビリテーション病院　感染対策室　室長　看護師
【評価者】長瀬正徳　陵北病院　副院長　医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-1	蓮江　智彦	医師	神奈川県	相原病院	慢性期病院における尿中 ESBL 産生菌の検出の実態と感染伝播対策の効果
3-2	沢紙　孝児	看護師	沖縄県	北中城若松病院	慢性期病棟における薬剤耐性菌サーベイランスとケアバンドルの有効性の検討
3-3	清水　直美	看護師	富山県	流杉病院	慢性期病院における中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）の現状
3-4	上坂　博樹	薬剤師	北海道	愛全病院	新型コロナワクチンの接種を通した職種間連携と薬剤師の積極的な関わり
3-5	竹山　千晶	薬剤師	神奈川県	鶴巻温泉病院	慢性期病院における新型コロナウイルス感染症治療薬に対する薬剤師の介入
3-6	波川　満喜	看護師	富山県	西能みなみ病院	集団感染発生時の対策にかかった衛生材料費用の比較～インフルエンザ・COVID－19 クラスターを振り返って～

4　11月6日（木）　17:40～18:30　在宅医療・看護

【座　長】岡純子　高良台リハビリテーション病院　臨床部　マネジャー　看護師
【評価者】谷領　　定山渓病院　リハビリテーション部　言語療法科　科長代理　言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-1	長谷川　久美子	看護師	埼玉県	訪問看護ステーションみずほ	暴力・ハラスメントへの対応～安心して働ける職場環境を目指して～
4-2	渡邉　由佳	看護師	岡山県	訪問看護ステーションてまり	認知症高齢者が在宅生活を続けるための訪問看護師の関わり
4-3	西田　みどり	看護師	東京都	セントラル病院	自宅退院困難と思われた患者が自宅退院するまで～家族の強い思いから学んだこと～
4-4	下地　千乃	管理栄養士	沖縄県	牧港中央病院／にぬふぁぶし診療所	在宅療養者に対する訪問栄養指導の実践～管理栄養士による支援の実践と課題～
4-5	石垣　秀記	臨床工学技士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	当院における人工呼吸器装着患者在宅復帰における臨床工学技士介入の重要性について

第4会場（大阪国際会議場 8F 803）

5　11月6日（木）　13:40～14:40　ターミナルケア・緩和ケア①

【座　長】柏木真里子　鶴巻温泉病院　看護部　副部長　看護師
【評価者】工藤弘之　　大久野病院　リハビリテーション部　部長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-1	瀬戸　裕二	理学療法士	徳島県	保岡クリニック論田病院	各機関の密な連携・情報共有によって患者の望む最期を迎えることができた事例
5-2	津志田　千尋	作業療法士	福岡県	京町病院	本人の思いに沿ったケアを目指して
5-3	細田　佳代	看護師	島根県	安来第一病院	地域包括ケア病棟でのエンド オブ ライフ ケア～家族支援から学んだこと～
5-4	立石　理香	看護師	福岡県	恵光会原病院	単独世帯の増加に伴う緩和ケア病棟での患者との関わりについて～一症例を通して感じたこと～
5-5	原　安澄	看護師	島根県	介護医療院昌寿苑	尊厳死を望む意思疎通困難な利用者と家族から学んだこと
5-6	大原　彬奈	看護師	和歌山県	名手病院	透析継続の是非に揺れる看取り支援～施設入所中の透析患者を通して見えた課題～

6　11月6日（木）　15:00～16:00　ターミナルケア・緩和ケア②・医療ソーシャルワーク

【座　長】小林裕恵　鹿島病院　医療相談部　部長代理　社会福祉士
【評価者】角田悠拓　鶴巻温泉病院　リハビリテーション部　主任　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-1	岩田　安弘	医師	富山県	西能みなみ病院	当院におけるオピオイドの使用経験～特に非がん疾患について～
6-2	木村　圭輔	看護師	北海道	聖ヶ丘病院	スタッフの終末期に対する意識の向上を図る―PPI を活用して―
6-3	若槻　純	理学療法士	鳥取県	養和病院介護医療院	QOL を高める外出支援の取り組み～介護医療院での役割としての有益性～
6-4	山地　ひろみ	看護師	東京都	信愛病院	アニマルセラピー活動における　緩和ケア病棟の業務改善
6-5	坂　塁	社会福祉士	愛知県	並木病院	攻めのベッドコントロール～高病床稼働率獲得に向けた入退院調整～
6-6	佐藤　菜央	社会福祉士	群馬県	内田病院	地域包括ケア病棟における退院バリアンス要因の分析と対策～困難事例への多職種連携アプローチを交えて～

第5会場（大阪国際会議場 8F 804）

7　11月6日（木）　13:40～14:50　認知症①

【座　長】笹岡彰一　　定山渓病院　診療部　副院長　医師

【評価者】藤田慎一朗　倉敷スイートホスピタル　リハビリテーションセンター　センター長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-1	中村　真大	看護師	福岡県	北九州古賀病院	認知症女性患者における「化粧療法」を用いた心理的効果の検証
7-2	松野　菜穂実	看護師	大阪府	照葉の里箕面病院	中規模療養型病院における認知症ケアチームの取り組みについて―重度認知症者の笑顔を引き出すために―
7-3	小野　天音	介護福祉士	岡山県	柴田病院	オルゴール音楽による睡眠時間確保と不穏軽減に取り組んで・・・～音による、認知症と睡眠の関わり～
7-4	石田　美紀	看護師	東京都	ねりま健育会病院	回復期病棟における援助に難渋した認知症患者を振り返る
7-5	大山　智子	看護師	北海道	愛全病院	感染対策による隔離によってせん妄を発症した患者への「その人らしさ」を尊重した看護の実践
7-6	工藤　直樹	介護福祉士	茨城県	志村デイサービスセンター　さくらデイ	認知症になっても役割のある毎日へ～総合アセスメントの活用によるその人らしさの実現に向けて～
7-7	堀口　慎介	言語聴覚士	兵庫県	介護老人保健施設ヴィラ光陽	認知高齢者の夜間覚醒に対する高照度光療法の効果

8　11月6日（木）　15:00～16:20　認知症②

【座　長】鈴木和美　　鶴川記念病院　看護部長室　副看護部長　看護師
【評価者】久野木里美　陵北病院　看護師長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-1	前田　慎太郎	理学療法士	高知県	愛宕病院分院	外的補助手段を用いることで時間管理が可能となった高齢患者
8-2	森岡　あずさ	看護師	兵庫県	宝塚リハビリテーション病院	認知症患者における身体的拘束解除がもたらす効果と行動変容～身体的拘束解除事例を通して見えたこと～
8-3	鋤田　延枝	看護師	富山県	光ヶ丘病院	認知症ケア研修による職員の意識変化～身体拘束患者から考察する～
8-4	山本　良	介護福祉士	茨城県	フロイデ総合在宅サポートセンター城里	BPSD（行動・心理症状）への分析と取り組み
8-5	松下　卓也	看護師	富山県	いま泉病院	アルツハイマー型認知症利用者への食支援～多職種連携で今ある機能を生かす～
8-6	小田　茂樹	精神保健福祉士	広島県	ナカムラ病院	認知症初期集中支援チームの活動と事例検討
8-7	郷久　真樹子	看護師	北海道	札幌西円山病院	障害者施設等一般病棟における認知症高齢者の排便コントロールにおける看護師の認識とケア上の課題
8-8	菅沼　美佐子	看護師	大阪府	藍野病院	精神科病棟における重度認知症高齢者への病棟デイケアの取り組み

第6会場（大阪国際会議場 8F 805）

9　11月6日（木）　13:40～14:50　地域包括ケア①

【座　長】大島一樹　札幌西円山病院　在宅ケアセンター　所長　社会福祉士
【評価者】中村大輔　元気会横浜病院　副院長　医師・作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-1	山下　晋矢	医師	東京都	セントラル病院	地域包括ケアシステムに対するセントラル病院の新たな取り組み
9-2	川口　幸恵	看護師	山梨県	城東病院	JMG（Joto Medical Group）コマンドセンターの取り組み～まちのマネジメントを目指して～
9-3	梶原　敬義	医師	福岡県	たたらリハビリテーション病院	当院地域包括ケア病棟へ自宅から緊急入院した高齢者症例の検討
9-4	田村　真奈	看護師	福岡県	恵光会原病院	心不全患者の内服自己管理に向けての取り組み
9-5	鶴賀　美樹	看護師	滋賀県	淡海ふれあい病院	地域包括ケア病棟における糖尿病指導の実践報告　オリジナル教材を用いた 50 症例の分析
9-6	幸　桃花	看護師	鹿児島県	国分中央病院	尿道留置カテーテル管理のある患者の在宅退院に向けて
9-7	沖園　綾	社会福祉士	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	退院支援における多職種連携

10　11月6日（木）　15:00～16:00　地域包括ケア②

【座　長】中西徳弥　　内田病院　地域医療連携室　マネジャー　社会福祉士
【評価者】石家美智香　南高井病院　2 病棟　看護師長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-1	金井　祐斗	理学療法士	宮城県	石巻健育会病院	当院地域包括ケア病棟における早期退院患者の傾向～40 日以内と 41 日目以降の二群間の比較～
10-2	勝呂　樹莉亜	理学療法士	静岡県	新富士病院	地域包括ケア病棟における自宅退院に繋がる要因について
10-3	岡本　龍征	理学療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタル	地域包括ケア病棟における高齢者の在宅復帰に影響する因子の調査
10-4	松田　拓也	理学療法士	沖縄県	若松病院	自宅で暮らす力を支える退院支援―介護指導・家屋調査の重要性
10-5	谷口　和人	理学療法士	長崎県	恵寿病院	50 代独居入院患者自宅復帰の一事例
10-6	永田　梨茄	作業療法士	福岡県	水戸病院	「自炊を継続し、自分らしい独居生活を諦めたくない」～高次脳機能障害を呈し IADL 再獲得に難渋した症例～

第7会場（大阪国際会議場 8F 806）

11　11月6日（木）　13:40～15:00　地域包括ケア③

【座　長】高瀬紀子　　霞ヶ関南病院　医療福祉相談部　部長　社会福祉士
【評価者】吉田慎一郎　光風園病院　リハビリテーション部　OT 主任　作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-1	今村　健斗	看護師	島根県	安来第一病院	地域包括ケア病棟で実践した「人生会議」の課題
11-2	福田　容子	理学療法士	島根県	鹿島病院	当院地域包括ケア病床におけるリハビリテーションの実際～看取りを含めた療養の場での役割～
11-3	米倉　未智瑠	理学療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	当院地域包括ケア病棟における「活動・憩いの場」のアンケート調査報告～愛されるリハ科を目指して～
11-4	平石　聖光	理学療法士	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	地域包括ケア病棟での当院独自の歩行自立度評価認定シート活用に向けた取り組み
11-5	都築　理紗	作業療法士	宮城県	金上病院	入院時の認知機能レベルが運動 FIM 改善に与える影響と改善する FIM 項目の検討
11-6	植松　大喜	理学療法士	愛知県	高浜豊田病院	地域包括ケア病棟における集団サーキットトレーニングが離床時間に与える影響
11-7	宮田　渉希	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	地域包括ケア病棟における経口摂取量低下患者に KT バランスチャートを用いた多職種連携アプローチの有効性
11-8	岡　咲智芳	看護師	千葉県	印西総合病院	整形外科術後患者における漸進的筋弛緩法（PMR）の有効性　疼痛およびリラックス効果の検証

第8会場（大阪国際会議場 10F 1001～1003）

12　11月6日（木）　13:40～15:00　回復期リハ①

【座　長】篠原恵美子　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　副看護部長　看護師
【評価者】阪井之哉　　霞ヶ関南病院　地域連携室　室長　作業療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
12-1	近下　翔馬	理学療法士	香川県	橋本病院	左放線冠ラクナ梗塞を呈し、歩容改善に対して介入した症例～内反尖足と骨盤 Sway に着目して～
12-2	千葉　栞太	理学療法士	埼玉県	富家病院	環境要因（空間構造）がバランス保持に与える影響
12-3	中村　真唯	理学療法士	静岡県	天竜すずかけ病院	視覚フィードバックを用いて Pusher 現象が改善した心原性脳塞栓症の一例
12-4	大畑　祐人	理学療法士	静岡県	熱川温泉病院	重度高次脳機能障害、左片麻痺を呈した患者に対して無誤学習を使用し、移乗動作獲得に至った症例
12-5	高橋　和巳	理学療法士	東京都	多摩川病院	Pusher 現象を呈し重度片麻痺患者に対してアイパッチを使用し寝返り動作介助量軽減を認めた一症例
12-6	佐藤　龍之介	理学療法士	東京都	緑成会病院	ミラーフィッシャー症候群により歩行障害を呈した一症例 協調性訓練を取り入れた理学療法の症例報告
12-7	足利　魁斗	言語聴覚士	愛知県	岡崎東病院	右皮質下出血後の重度嚥下障害に対してバルーン法、患側への頸部回旋法施し、自宅退院を実現した 1 症例行
12-8	島谷　美輝	看護師	東京都	竹川病院	患者の希望に沿った看護の実践～最後まで食べることを諦めない～

13　11月6日（木）　15:00～16:20　回復期リハ②

【座　長】平井光広　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　病棟主任　理学療法士
【評価者】永田雅治　新栄会病院　院長　医師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-1	小島　寿貴	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	Short Physical Performance Battery (SPPB) と食事形態の関連性
13-2	飯塚　彩矢香	管理栄養士	東京都	永生病院	体重と下腿周囲長の関係性と、それに伴う栄養評価の変化
13-3	髙木　遼	理学療法士	徳島県	徳島平成病院	高齢者の大腿骨近位部骨折における多因子エクササイズの効果検証
13-4	平野　愛里	看護師	東京都	竹川病院	統合失調症の患者との関わり～KOMI チャート・レーダーチャートを使用して～
13-5	福間　和也	理学療法士	島根県	安来第一病院	右大腿骨転子部骨折術後患者における膝関節痛の遷延により施設退院となった症例
13-6	平城　楓	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	人工膝関節全置換術後における Stiff knee gait の軽減に全身協調性の改善が奏功した一症例
13-7	大沼　燎	理学療法士	北海道	愛全病院	回復期リハビリテーション病棟における後期高齢患者の入院時全身位相角と FIM effectiveness の関連の検討
13-8	今井　優作	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	胸髄損傷者の転帰先を自宅からサービス付き高齢者住宅に変更し, ADL 向上と生活範囲の拡大を図った取り組み

14　11月6日（木）　16:20～17:30　回復期リハ③

【座　長】大谷祐之　　富家病院　地域総合診療専門研修指導医　医師
【評価者】柏木真里子　鶴巻温泉病院　看護部　副部長　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
14-1	木原　陸	理学療法士	東京都	緑成会病院	Hybrid Assistive Limb を用いた食道がん第 5 胸椎転移術後の不全麻痺患者に対するリハビリテーションの一症例
14-2	田村　勇祐	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	重度頚髄症性脊髄症に対し運動療法を継続し杖歩行自立を目指した症例
14-3	山本　沙織	作業療法士	千葉県	薬園台リハビリテーション病院	失語症患者を就労移行支援に繋いだ一例～患者の想いを見逃さない～
14-4	一戸　寿予	看護師	北海道	花川病院	KOMI チャートシステムを活用した「やりたい」に寄り添うケア～脳血管障害患者の実践を通して～
14-5	葛山　美里	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテーション病院	円滑な自宅復帰を目指した当院の取り組みと課題　在宅生活を見据えたリハビリテーションの展開
14-6	脇坂　健介	理学療法士	山口県	光風園病院	回復期リハビリテーション病棟における心疾患患者のリスク管理教育の効果～第二報：研修後の変化～
14-7	神原　直史	理学療法士	東京都	鶴川サナトリウム病院	回復期リハビリテーション病棟における入棟時認知 FIM レベル別の FIM 利得および運動項目別比較

15　11月6日（木）　13:40～15:00　回復期リハ④

【座　長】山岡弘美　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　病棟主任　看護師
【評価者】江藤潤　　島の病院おおたに　リハビリテーション部　部長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
15-1	長井　左京	理学療法士	群馬県	内田病院	認知症自立度 IIIa 以上の患者における入浴自立の関連要因とは？～回復期リハビリ病棟入棟時 FIM による検討～
15-2	牧村　直輝	理学療法士	奈良県	奈良東病院	睡眠時間がリハビリテーションへの参加意欲に与える影響―多疾患併存状態症例の経過からの考察―
15-3	藤原　玲奈	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	回復期リハビリテーション病棟退院後の訪問リハビリテーションとの情報共有～連携の質向上を目指して～
15-4	加藤　ゆず子	看護師	東京都	竹川病院	患者の持てる力に着目して自宅退院に向け行った関わりを通して
15-5	中村　春基	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	気づきの医療を具現化する院内ゴルフ練習場の設置と今後の展望
15-6	佐々木　崇	看護師	三重県	花の丘病院	多職種連携　チーム結成!　オムツ排泄患者をトイレ導入へ
15-7	山下　由香	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院	チェアー浴槽でのフットケア導入　介護職員の意識の変化
15-8	柳谷　幸希	看護師	兵庫県	西宮回生病院	回復期リハビリテーション病棟における自立度変更に影響を及ぼす要因について

16　11月6日（木）　15:00～16:10　回復期リハ⑤

【座　長】尾山直樹　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　病棟主任　理学療法士
【評価者】吉村直也　千里リハビリテーション病院　5 病棟　副主任　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
16-1	小黒　清史郎	言語聴覚士	北海道	花川病院	五十音提示による意思伝達が可能となった蘇生後脳症の一症例
16-2	三瀬　美咲	作業療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	高齢患者に対する電動カート（シニアカー）専用シミュレータの実践～屋外活動への参加向上を目指して～
16-3	菊池　和友	社会福祉士	岩手県	南昌病院	回復期リハビリテーション病棟から施設へ入所した患者における COVID-19 の影響
16-4	神原　由梨子	看護師	香川県	橋本病院	職場復帰を目標とした患者への介入　効果的な非薬物療法の実践について
16-5	深山　温	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	当院での認知症患者の 24 時間ケア
16-6	遠藤　恵悟	理学療法士	群馬県	内田病院	回復期リハビリ病棟退院者の在宅生活継続における支援ニーズの実態調査
16-7	鈴木　智子	言語聴覚士	千葉県	新八千代病院	回復期リハビリテーション病棟における食事を通じた集団レクリエーションの工夫

17　11月6日（木）　16:20～17:30　外来・通所リハ①

【座　長】田邊夏美　橋本病院　通所リハビリテーションセンター　センター長　作業療法士
【評価者】笹岡彰一　定山渓病院　診療部　副院長　医師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
17-1	木村　邦広	理学療法士	和歌山県	宇都宮病院	外来リハビリテーションにてメタボリックシンドローム改善に向けた取り組み、変形性膝関節症に対する一例
17-2	板垣　陽介	理学療法士	島根県	鹿島病院	在宅退院後の通所リハビリテーション利用による日常生活活動の変化項目について
17-3	市川　陽子	理学療法士	愛知県	小林記念病院デイケアセンター	短時間デイケアが筋力に与える影響の検討～通所サービスの可能性～
17-4	中村　邦子	理学療法士	千葉県	小林病院	転倒予防の再構築を試みて　在宅高齢者の転倒履歴から
17-5	黒木　博和	理学療法士	鹿児島県	隼人温泉病院	短時間通所リハビリテーション利用者における生活範囲に影響を及ぼす因子の検討～運動機能面に着目して～
17-6	池田　裕哉	理学療法士	富山県	富山西リハビリテーション病院	当院におけるロコモフレイル外来の取り組みと成果
17-7	坂口　俊太郎	理学療法士	山口県	山口平成病院	介護保険分野における SPPB と関連因子による転倒予測

18　11月6日（木）　13:40～15:00　外来・通所リハ②

【座　長】倉田昌幸　　花の丘病院　通所リハビリテーション　課長　理学療法士
【評価者】柚田真知子　新栄会病院　リハビリテーション課　課長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
18-1	西村　渉	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	通所リハビリテーションにおけるサービスの充実化～セルフエクササイズの導入～
18-2	中西　撤矢	作業療法士	鹿児島県	隼人温泉病院	短時間通所利用者の実態調査
18-3	加藤　英幸	介護福祉士	三重県	花の丘病院	介護士と療法士の連携「通所リハビリテーションでの活動量アップを目指して」
18-4	濱　雄祐	言語聴覚士	北海道	聖ヶ丘病院	食思不振とオーラルフレイルの関係性　第一報～その先に待つものとは～
18-5	泉　貴大	言語聴覚士	東京都	スマイル永生／永生クリニック	通所リハビリテーションで多角的な介入を行い経口摂取再開に至った誤嚥性肺炎後のパーキンソン病患者の一例
18-6	宮地　拓馬	理学療法士	広島県	小畠病院	リズム音楽を「聞き流す」ことが通所リハビリテーション利用中のパーキンソン病患者の歩行に及ぼす影響
18-7	星本　諭	理学療法士	東京都	みなみ野病院	地域在住要介護高齢者に対する通所リハが生活活動に及ぼす影響と期間の検討
18-8	中村　泰陽	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	心臓血管外科術後に腕神経叢損傷を生じた脳卒中片麻痺患者の外来理学療法経験

19　11月6日（木）　15:00～16:20　外来・通所リハ③

【座　長】松原研斗　小林記念病院　デイケアセンター　所長　理学療法士
【評価者】小川輝史　定山渓病院　リハビリテーション部　部長　作業療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
19-1	近藤　慎之介	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	生後 8 か月の乳児を育児中の母親における膝蓋骨粉砕骨折（ひまわり法術後）への外来リハビリテーション経験
19-2	吉村　裕子	作業療法士	富山県	富山西リハビリテーション病院	当院の免許証返納支援を含めた運転外来の実状
19-3	大西　航平	作業療法士	愛知県	藤田医科大学病院	大学病院における短時間通所リハビリテーションの満足度に関する調査結果
19-4	二宮　月渚	理学療法士	北海道	道南ロイヤル病院	障害受容の混乱期における方向性再構築の支援
19-5	田中　利征	理学療法士	京都府	株式会社　春うらら	デイサービスセンター春らんまんの屋外歩行練習での買い物活動取り組みについて
19-6	斉野　裕希	作業療法士	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	当院における小児リハビリの開設と携わるスタッフのストレス軽減を目指した研究
19-7	川村　大樹	理学療法士	静岡県	きせがわ病院	デイケア利用者の在宅療養を支援するための組織改革～ジョン・コッターの変革モデルを用いた取り組み～
19-8	原田　由加里	看護師	福岡県	恵光会原病院	電子カルテ導入前後における患者の待ち時間の変化と今後の課題

20　11月6日（木）　16:20～17:30　訪問リハ①

【座　長】野本正仁　美原記念病院　リハビリテーション部　訪問リハビリテーション課　課長代行　理学療法士
【評価者】大島一樹　札幌西円山病院　在宅ケアセンター　所長　社会福祉士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
20-1	坪木　大児	理学療法士	京都府	京都リハビリテーション病院	訪問リハビリテーションから日常生活の自立・通所型サービスに繋がる要因
20-2	橋本　福太郎	理学療法士	兵庫県	園田病院	訪問リハビリテーションの効果について
20-3	吉本　達人	理学療法士	大阪府	平成豊中訪問看護ステーション	E-SAS を活用した在宅高齢者の行動変容を考慮した生活範囲拡大へのアプローチ
20-4	岡　一輝	理学療法士	東京都	磯医院訪問看護ステーション	訪問リハビリテーションにおける AI 歩行解析の有用性―1 症例を通じた可視化と共有効果―
20-5	西留　弘徳	理学療法士	鹿児島県	吉田記念病院	家族の協力により排泄動作能力が向上した一症例
20-6	熊木　佑樹	理学療法士	東京都	大内病院	訪問リハビリテーション利用者のセルフエフィカシーと環境因子に関する一報告
20-7	髙橋　麻衣子	理学療法士	徳島県	訪問看護ステーションてとてと徳島	筋萎縮性側索硬化症患者の在宅生活を支える災害対策～個別性と安全性を考慮した事業継続計画訓練の実際～

21　11月6日（木）　13:40～14:40　訪問リハ②・排泄リハ

【座　長】川野亜季子　光風園病院　看護部　病棟科長　看護師
【評価者】小林達也　　島の病院おおたに　副院長　医師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
21-1	山田　容子	言語聴覚士	東京都	大内病院	他言語話者の失語症訓練に関する考察
21-2	荒川　恭一	言語聴覚士	静岡県	掛川北病院　訪問リハビリテーション	訪問ならではのアプローチを通じ失語の機能回復がもたらされた結果、情動や人間関係に良い変化が生じた症例
21-3	吉永　祐美	言語聴覚士	大阪府	淀川平成病院	本人の思いを実現するために訪問リハビリで支援を継続し趣味活動の再開に至った一症例
21-4	高木　弘美	言語聴覚士	大阪府	わかくさ大東訪問看護ステーション	脳梗塞発症後、重度摂食嚥下障害への１年間の経口摂取の取り組み―訪問での多職種連携―
21-5	松田　瑛里奈	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	当院の地域包括医療病棟における障害高齢者の日常生活自立度を使用した下着形態の検討
21-6	亀井　啓吾	理学療法士	徳島県	徳島平成病院	当院地域包括ケア病棟患者におけるトイレ動作能力改善の有無と骨格筋量の関連性

22　11月6日（木）　15:00～16:20　摂食・嚥下リハ①

【座　長】谷領　　定山渓病院　リハビリテーション部　言語療法科　科長代理　言語聴覚士
【評価者】古賀俊貴　高良台リハビリテーション病院　臨床部　マネジャー　作業療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
22-1	山口　汐里	言語聴覚士	北海道	定山渓病院	当院における兵頭スコアを用いた経口摂取可否の予後予測
22-2	小林　剛	言語聴覚士	神奈川県	元気会横浜病院	慢性期医療における嚥下障害患者の入院時予後予測―経口摂取の可否に関連する因子の検討―
22-3	木村　綾香	言語聴覚士	北海道	定山渓病院	絶食から経口摂取可能となる因子の考察
22-4	齋藤　絢心	言語聴覚士	東京都	平成扇病院	尿路感染症後の廃用症候群によって摂食嚥下障害を呈した重度認知症例
22-5	山口　直美	言語聴覚士	高知県	朝倉病院	慢性期入院患者に対する干渉波電気刺激（IFC）を用いたリハビリテーション
22-6	鈴木　千乃	言語聴覚士	千葉県	印西総合病院	誤嚥性肺炎で長期間絶食となった医療療養病棟入院中の患者に対して経口摂取再獲得ができた症例：症例報告
22-7	相原　元気	言語聴覚士	東京都	鶴川記念病院	慢性期医療における経口摂取の重要性～限られた医療資源で経口摂取ニーズに応じて行く為に～
22-8	奥冨　大介	作業療法士	静岡県	東名裾野病院	うつ病を克服し食事摂取が可能となった１症例

23　11月6日（木）　16:20～17:40　摂食・嚥下リハ②

【座　長】西岡奨太　鳴門山上病院　診療協力部　リハビリテーション部門　主任　言語聴覚士
【評価者】高瀬紀子　霞ヶ関南病院　医療福祉相談部　部長　社会福祉士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
23-1	北野　剛史	言語聴覚士	大阪府	千里リハビリテーション病院	聖隷式嚥下質問紙の評価スコアは食形態決定の参照基準となり得るか
23-2	白川　卓	言語聴覚士	香川県	橋本病院	聖隷式嚥下質問紙と摂食嚥下リハビリテーション関連検査（評価）項目との関係
23-3	森　万純	言語聴覚士	三重県	花の丘病院	低栄養で嚥下調整食を摂取する患者への食欲増進の取り組みと課題―満足度向上を目指して―
23-4	池上　寛子	言語聴覚士	大阪府	千里リハビリテーション病院	常食の自己摂取が可能となり自宅退院したレビー小体型認知症の一例に対する取り組み
23-5	山川　貴弘	言語聴覚士	石川県	芳珠記念病院	嚥下内視鏡検査における言語聴覚士の関与とその臨床的意義の検討
23-6	濱田　ゆかり	言語聴覚士	大阪府	清恵会三宝病院	摂食嚥下支援チームが関わり TPN 離脱成功した例と困難だった例について
23-7	大村　智也	言語聴覚士	兵庫県	平成病院	回復期リハビリテーション病棟の高齢整形外科疾患患者における食事形態低下の関連因子
23-8	北園　和代	言語聴覚士	鹿児島県	国分中央病院	小学校と病院 ST が連携をとり給食支援を行った症例～楽しく給食を食べるために～

第9会場（大阪国際会議場 10F 1004+1005）

24　11月6日（木）　13:40～14:50　理学療法①

【座　長】西村卓也　泉佐野優人会病院　リハビリテーション部　エリア部長　理学療法士
【評価者】嶋崎眞治　永生病院　リハビリテーション部　科長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
24-1	辻　琴羽	理学療法士	東京都	緑成会病院	脳卒中ガイドラインに基づく歩行訓練が重度脳卒中患者（60 代男性）の歩行能力に与える影響
24-2	服部　柚希奈	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	頸髄損傷による体幹失調に対して体幹トレーニングが有効であった症例～失調改善による歩行自立を目指して～
24-3	清水　聡史	理学療法士	福岡県	北九州若杉病院	レビー小体型認知症＋アルコール性認知症患者の腰痛および歩行改善に向けたアプローチ
24-4	藤澤　一朗	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	身体機能と転倒恐怖感の乖離を呈した橋梗塞例の介入に関する考察
24-5	小山内　麗	理学療法士	宮城県	西仙台病院	家族時間の充実～外出時の食事時間を楽しむために～
24-6	五百蔵　竜太	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	BHA 施行後に臀部痛を呈し運動療法と動作指導により歩行機能が向上した一症例
24-7	森　奈津子	理学療法士	大阪府	わかくさ竜間リハビリテーション病院	筋強直性筋ジストロフィーの障害特性を考慮した筋力増強運動により歩行獲得し自宅退院に至った症例

25　11月6日（木）　15:00～16:10　理学療法②

【座　長】畑中仁志　淀川平成病院　リハビリテーション部　エリア部長　理学療法士
【評価者】星山将　　島の病院おおたに　リハビリテーション部　士長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
25-1	山﨑　博喜	理学療法士	福岡県	原病院	高齢患者に床を踏むことを意識させた歩行が下肢の筋活動に与える影響　「踏みトレ」の開発における予備的研究
25-2	草野　謙二	理学療法士	福岡県	原病院	高齢患者に床を踏むことを意識させた運動が歩行や立ち上がりに与える影響　「踏みトレ」開発における予備研究
25-3	新田　康貴	理学療法士	北海道	札幌西円山病院	パーキンソン病患者の転倒と非運動症状の関連性について
25-4	菊地　さくら	理学療法士	宮城県	西仙台病院	臥床時間が延長し，車椅子離床が困難となった症例～目的のある離床を目指して～
25-5	佐々木　美紅	理学療法士	千葉県	印西総合病院	維持期リハでも本人の希望に合わせた介入によって、座位及び耐久力が獲得できた症例：症例報告
25-6	金澤　昇汰	理学療法士	茨城県	志村大宮病院	転倒による骨折受傷を繰り返していた事例に対する車椅子生活獲得までの理学療法
25-7	髙木　武蔵	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	末梢循環障害を呈する全介助症例の離床に向けた取り組み―esCCO を用いたリスク管理と介入の効果判定―

26　11月6日（木）　16:20～17:20　理学療法③

【座　長】横川武　　堺平成病院　リハビリテーション部　エリア部長　理学療法士
【評価者】篠原恵美子　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　副看護部長　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
26-1	石田　裕貴	理学療法士	東京都	多摩川病院	長下肢装具を用いた早期歩行訓練が ADL と覚醒に与えた影響―慢性心不全合併脳梗塞症例
26-2	井手　歩美	理学療法士	神奈川県	鶴巻温泉病院	人工呼吸器を要した回復遅延型ギラン・バレー症候群に対し長下肢装具を用いた長期介入―生活の再構築支援―
26-3	五味　和也	理学療法士	山梨県	恵信甲府病院	相反神経抑制を利用した筋収縮が関節可動域へ及ぼす即時効果―遠心性収縮の有意性の検証―
26-4	越山　陸	理学療法士	埼玉県	富家病院	骨格筋電気刺激療法が下肢筋の伸張性に与える影響
26-5	森林　真弓	理学療法士	千葉県	富家千葉病院	電気刺激療法介入後の身体機能および体組成に与える影響～短期間での検討
26-6	川尻　惇司	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	左前大脳・中大脳動脈の出血性梗塞により姿勢定位障害を患った症例

第10会場（大阪国際会議場 10F 1006+1007）

27　11月6日（木）　13:40～14:50　代替療法・レクリエーション

【座　長】白波瀬元道　永生病院　法人本部　リハビリ統括部　統括課長　言語聴覚士
【評価者】岡本成以子　南高井病院　看護部長　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
27-1	胡内　愛子	看護師	奈良県	奈良厚生会病院介護医療院	音楽鑑賞で楽しい時間が過ごせるか？！～寝たきりで認知症の方への音楽療法の効果について～
27-2	上野　小百合	レクリエーショントレーナー	神奈川県	鶴巻温泉病院	重度認知症高齢者への個別化レクリエーションのストレス軽減効果
27-3	髙橋　由貴子	音楽療法士	群馬県	内田病院	意思表示が困難な対象者に対する音楽療法の介入効果の事例報告～脳活動計測による意志表示の確認～
27-4	苅部　直寿	作業療法士	兵庫県	南淡路病院	コーヒーレクが精神疾患患者の気分・意欲にもたらす影響
27-5	大嶋　晶子	管理栄養士	千葉県	新八千代病院	回復期リハビリテーション病棟で実施した「食」をテーマとするレクリレーションについての報告
27-6	杉山　潤一	理学療法士	静岡県	ライフケアガーデン熱川	心に残るひとときをもう一度～喫茶コーナーと思い出メニューの取り組み～
27-7	加藤　優弥	看護師	宮城県	登米ひまわり訪問看護ステーション	メディカルアロママッサージによる身体的・精神的影響に関する報告

28　11月6日（木）　15:00～16:00　排泄ケア①

【座　長】林恵子　　島の病院おおたに　看護部　部長　看護師
【評価者】和田幸枝　南高井病院　リハビリテーション科　科長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
28-1	平山　典子	看護師	愛媛県	道後温泉病院	おむつ交換回数削減に向けた取り組み～オムツマイスタープロ認定取得者との協働の成果～
28-2	大須賀　枝里子	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院	根拠に基づいたオムツの当て方の検討～オムツ使用者の快適な生活を目指して～
28-3	山根　利奈	看護師	広島県	島の病院おおたに	おむつのフィッティング評価シートを活用した看護職員同士の指導効果と課題
28-4	大西　美加	看護師	愛知県	尾洲病院	陰部洗浄から陰部清拭へ
28-5	寺井　正幸	介護福祉士	神奈川県	鶴巻温泉病院	ベッド上での座位姿勢が与える排便促進効果の検証～長期臥床により排便困難な患者の自然排便を考えて～
28-6	中村　有沙	看護師	東京都	小平中央リハビリテーション病院	排便日誌導入前後の看護師の排便ケアへの意識変化

29　11月6日（木）　16:20～17:10　排泄ケア②

【座　長】近内光代　福島寿光会病院　看護部長　看護師

【評価者】山岡弘美　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　病棟主任　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
29-1	豊田　賢哉	介護福祉士	埼玉県	富家病院	オムツ交換での患者の QOL 向上を目指して
29-2	木村　茂雄	作業療法士	京都府	京都東山老年サナトリウム介護医療院	多職種での任意のカンファレンスで排泄ケアに取り組んだ 1 例
29-3	藤目　千穂	准看護師	香川県	橋本病院	排尿障害患者への自宅退院に向けた支援の取り組み～患者の不安に寄り添って～
29-4	森田　眞由美	看護師	愛媛県	南高井病院	排尿ケアチームと排尿ケアリンクナースの連携
29-5	松本　ヒサ子	看護師	福島県	いわき湯本病院	排泄ケアの質向上に向けた取り組みと今後の課題

第11会場（大阪国際会議場 10F 1008）

30　11月6日（木）　13:40～15:00　医療安全①

【座　長】南村幸子　桜ヶ丘病院　看護部　看護主任　看護師

【評価者】百戸直子　大久野病院　看護部　部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
30-1	俵　理恵	看護師	福岡県	北九州古賀病院	転倒転落ゼロを目指して（第一報）～転倒転落に対するスタッフの意識調査と対策の見直し～
30-2	太田　美沙希	看護師	東京都	多摩川病院	A 病院 B 病棟看護師における認知症患者の転倒予防に対する認識と実践の実態
30-3	河内　佑哉	理学療法士	兵庫県	平成病院	リハビリテーション中の転倒事故要因の経験年数別分析：改訂版タキソノミーを用いた検討
30-4	蔵本　匡平	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	大規模言語モデルを用いた転倒に関するインシデント・アクシデントレポート分析における有用性の検討
30-5	中尾　利樹	看護師	島根県	特定施設入居者生活介護「和かち逢う家」	和かち逢う家「転倒・転落外傷予防プロジェクト」
30-6	渕野　健太	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	転倒・転落対策チームによる病棟ラウンド開始前後におけるインシデントの変化について
30-7	脇田　真弓	看護師	兵庫県	西宮回生病院	インシデント 0 レベルレポート提出増加に向けた取り組み
30-8	松本　徹也	理学療法士	東京都	緑成会整育園	療法士の役職者配置が医療安全に与える影響

31　11月6日（木）　15:00～16:20　医療安全②

【座　長】松浦美香　志田病院　看護部　部長　看護師
【評価者】岡田誠志　定山渓病院　経営管理部　部長　事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
31-1	土田　こずえ	看護師	新潟県	三条東病院介護医療院	医療安全対策における医療安全事故防止委員会の取り組みと課題～ヒヤリハット報告を活用する～
31-2	杉山　幸代	看護師	静岡県	東名裾野病院	個別指導ノートを用いたインシデント・アクシデント対策
31-3	菅原　清美	看護師	大阪府	千里リハビリテーション病院	当院での 5S 活動導入内容と課題
31-4	小島　恵理	看護師	群馬県	内田病院	インシデント・転倒転落報告書の電子化による報告システム改善効果の検討
31-5	霧下　由美子	看護師	奈良県	奈良厚生会病院	内服薬投与忘れに対する薬局との協働～患者に安全を、職員には安心を～
31-6	藤田　美子	介護福祉士	大阪府	緑水会病院	肩こり改善体操を持続することの効果
31-7	鬼塚　亮汰	理学療法士	北海道	苫小牧東病院	当院リハビリテーション部における院内暴力防止への取り組み
31-8	黒澤　一平	看護師	北海道	定山渓病院	病棟スタッフの防災に関する知識調査―災害から自らの身を守ることができますか？―

32　11月6日（木）　16:20～17:40　業務改善①

【座　長】伊勢正輝　鶴巻温泉病院　地域連携室　主任　事務
【評価者】倉田昌幸　花の丘病院　通所リハビリテーション　課長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
32-1	長期　雅志	医師	宮城県	西仙台病院	慢性期脳卒中患者における二重管気管カニューレの有効性の解析
32-2	東郷　楓	看護師	鹿児島県	加治木温泉病院	看護師のコストに対する意識の向上
32-3	尹　玉姫	看護師	千葉県	成田富里徳洲会病院	当院療養病棟におけるタスクシフトによる PT-INR 管理の改善：ワルファリンプロトコルの単一症例
32-4	河野　豊	看護師	福岡県	水城病院介護医療院	ひと粒の小さな種がたくさんの花を咲かせた～経腸栄養剤変更に伴う波及効果～
32-5	塚田　大紀	作業療法士	富山県	富山城南病院	介護分野における生産性向上の取り組み～インカム導入による業務改善の結果と介護の質の向上に向けた課題～
32-6	中村　美紗子	看護師	佐賀県	志田病院	インカム導入による病棟業務の効率化について
32-7	安本　友子	看護師	大阪府	豊中平成病院	慢性期病院での災害対応計画と訓練でみえてきた課題
32-8	中里　創	作業療法士	東京都	永生クリニック	当クリニックリハビリ科における離職率低下に向けた取り組み～働きやすい職場を目指した 3 年間を振り返る～

33　11月6日（木）　17:40～18:20　経営管理全般

【座　長】髙石義浩　北条病院　院長　医師

【評価者】林邦宣　　定山渓病院　経営管理部　次長　事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
33-1	卜部　憲和	医師	静岡県	きせがわ病院	医療療養病床から地域包括ケア病床への一部病床機能転換の検討　その２
33-2	山田　知孝	事務職	静岡県	きせがわ病院	地域包括ケア病床の段階的増床による経営と職員影響の検討
33-3	井上　花菜	事務職	山口県	光風園病院	地域に選ばれる病院を目指して～事務職員による経営視点を取り入れたアプローチ～
33-4	目黒　浩昭	医師	栃木県	日光野口病院	広報活動の活性化を通じた職員の主体的病院運営参画の試み

第12会場（大阪国際会議場 10F 1009）

34　11月6日（木）　13:40～15:00　身体拘束廃止①

【座　長】小川佳代子　富家病院　リハビリテーション室　室長　理学療法士

【評価者】小坂安枝　　光風園病院　看護部　看護副部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
34-1	小日向　龍樹	看護師	群馬県	駒井病院	身体的拘束最小化に向けた現状と課題
34-2	仲西　やよい	看護師	奈良県	奈良厚生会病院	行動制限最小化への取り組みを開始して 2023 年度と 2024 年度の比較検討
34-3	松野　幸子	看護師	長野県	轟病院	身体拘束廃止に向けた取り組み～意識改革、多職種連携からのアプローチ～
34-4	服部　圭子	看護師	茨城県	協和南病院	身体拘束最小化を目指して
34-5	岡野　直人	作業療法士	埼玉県	清水病院	身体拘束最小化に向けた当院独自のアセスメントシート　「apple score」の開発と課題点
34-6	小竹　ちはる	看護師	北海道	愛全病院・介護医療院フローレンス	当院における身体的拘束を最小化する取組について
34-7	小田　典子	看護師	大阪府	緑水会病院	経鼻胃管の自己抜去予防～身体拘束低減化を目指して～
34-8	鬼塚　知子	介護福祉士	長崎県	池田病院　介護医療院リハサポート	介護医療院で身体拘束解除を目指した介護士の役割と事例

35　11月6日（木）　15:00～16:10　身体拘束廃止②

【座　長】梅津光香　定山渓病院　看護部　部長　看護師
【評価者】須賀晴彦　富家千葉病院　院長　医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
35-1	浜田　里子	准看護師	鹿児島県	吉田記念病院介護医療院	「身体拘束 0」に向けての取り組み
35-2	樫村　玲美	看護師	兵庫県	宝塚リハビリテーション病院	身体拘束実施・解除の判断における看護師の思考―車いす安全ベルト解除判断に混迷した事例の振り返りから―
35-3	松田　実咲	看護師	北海道	定山渓病院	経鼻栄養チューブ自己抜去を繰り返す患者への身体拘束をしない関わり
35-4	竹口　衣里	看護師	和歌山県	桜ヶ丘病院	身体拘束解除に向けた意識調査と取り組み
35-5	秦　絵理子	看護師	大阪府	ベルピアノ病院	療養型病棟におけるミトン廃止に向けたフローチャートの活用効果
35-6	谷脇　広美	看護師	栃木県	宇都宮中央病院	上肢の拘束の種類による苦痛の違い―スタッフの拘束体験から―
35-7	加藤　怜子	看護師	静岡県	袋井市立聖隷袋井市民病院	身体拘束最小化への取り組み―看護カンファレンスによる効果―

36　11月6日（木）　16:20～17:30　身体拘束廃止③・臨床検査

【座　長】児嶋剛弘　桜ヶ丘病院　看護部　看護主任　看護師
【評価者】川野亜季子　光風園病院　看護部　病棟科長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
36-1	新垣　さと子	看護師	大阪府	清恵会病院	マフを活用した身体拘束最小化への取り組み～患者の安全と尊厳を考える～
36-2	中野　裕登	看護師	兵庫県	西宮回生病院	経鼻経管栄養チューブ挿入中にミトンを装着することに対する看護師の意識調査
36-3	寺尾　直子	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	当院における転倒予防に関する身体拘束に対する看護師・介護士の意識調査
36-4	佐藤　知香	看護師	徳島県	中洲八木病院	認知症を有する大腿骨近位部骨折術後患者に対する身体抑制の実態と課題　地域包括ケア病棟の記録分析を通して
36-5	松井　京子	臨床検査技師	埼玉県	富家病院	富家病院における入院時血清 Alb 値が在院日数へ与える影響～カプランマイヤー法による検証～
36-6	百瀬　綾乃	臨床検査技師	千葉県	富家千葉病院	富家千葉病院における入院時血清 Alb 値が在院日数へ与える影響～カプランマイヤー法による検証～
36-7	板垣　史郎	薬剤師	北海道	札幌医科大学	産学官連携に基づく、医療現場ニーズに対応した CT 検査用腕置台の開発

37　11月6日（木）　17:40～18:40　薬剤

【座　長】比留間祐介　みなみ野病院　医療技術部　副部長　薬剤師
【評価者】新枦義之　　鶴巻温泉病院　診療技術部　薬剤科　科長　薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
37-1	山之上　弘樹	医師	静岡県	静岡徳洲会病院	長期療養患者に発症した薬剤性溶血性貧血の 1 例
37-2	菊地　豊	理学療法士	群馬県	脳血管研究所美原記念病院	進行期パーキンソン病患者に対するヴィアレブの治療安全性と継続率向上の取り組み
37-3	清水　利保	薬剤師	富山県	西能みなみ病院	2023 から 2024 年度における注射剤抗菌薬使用状況の解析
37-4	瀬尾　佳世	薬剤師	大阪府	千里リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病院における薬剤総合評価調整加算への取り組みとその成果
37-5	田中　さおり	薬剤師	山口県	宇部リハビリテーション病院	服薬支援体験による服薬形態に対する共通認識の形成―多職種協働に向けた取り組み―
37-6	辻江　浩平	薬剤師	富山県	流杉病院	令和 6 年度診療報酬改定による中心静脈栄養の医業収益への影響

第13会場（大阪国際会議場 10F 主催者控室10-1+10-2）

38　11月6日（木）　13:40～14:50　褥瘡・スキンケア①

【座　長】清宮大翔　平成扇病院　リハビリテーション部　課長　理学療法士
【評価者】三橋直樹　鶴巻温泉病院　診療技術部　栄養科　係長　管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
38-1	吉田　栄利子	介護福祉士	大阪府	緑水会病院	長期臥床患者の腋窩部に対してハッカ水による有効性の検証
38-2	菅野　綾子	看護師	栃木県	白澤病院	重曹水を用いた拘縮手の消臭効果
38-3	吉田　文	准看護師	兵庫県	北摂中央病院	腋窩の皮膚トラブルに対する食酢スプレー散布と綿シャツ着用の効果についての一考察
38-4	坂口　彩花	看護師	福岡県	恵光会原病院	褥瘡の処置における洗浄の重要性
38-5	中沢　朋子	看護師	東京都	介護医療院　セントラル大田	難治性褥瘡に対する一考察
38-6	鈴木　莉緒	看護師	東京都	平成扇病院	難治性皮膚炎を繰り返す意思疎通困難な患者に対するケアに関する一考察
38-7	峠　美希	准看護師	埼玉県	大宮共立病院	水疱性類天疱瘡患者の身体的苦痛緩和を図る、有効的なケア方法～一患者の事例を通して～

39　11月6日（木）　15:00～16:10　褥瘡・スキンケア②

【座　長】諸江伸龍　永生病院　リハビリテーション部　係長　理学療法士
【評価者】吉尾雅春　千里リハビリテーション病院　セラピー部　筆頭副院長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
39-1	矢下　大裕	理学療法士	奈良県	秋津鴻池病院	難治性腰部褥瘡に対し、多職種が連携し継続的に治療を行った一症例
39-2	唐津　麻樹	看護師	神奈川県	横浜鶴見リハビリテーション病院	医療療養病棟における複数の褥瘡を有する患者への包括的支援～体圧管理と多職種連携による褥瘡改善の一事例
39-3	川内　斗輝	看護師	静岡県	熱川温泉病院	チームアプローチにより離床意欲がない患者の持ち込み褥瘡を改善した一例―LINE-WORKS を活用した情報共有―
39-4	塩澤　崇夫	作業療法士	神奈川県	北小田原病院	多職種連携による褥瘡対策の取り組み
39-5	奥竹　麻衣	准看護師	福岡県	恵光会原病院	褥瘡改善に向けた取り組み（効果的なポジショニングとポリマークッションの有効性について）
39-6	古賀　夕貴	看護師	佐賀県	山元記念病院	多発褥瘡における創傷管理と継続的介入の有効性
39-7	大河内　康弘	理学療法士	東京都	多摩丘陵病院	持ち込みの重度褥瘡に対し体圧分布測定装置を用いたポジショニングにより褥瘡改善の一助となった症例

40　11月6日（木）　16:20～17:30　褥瘡・スキンケア③

【座　長】柳川竜一　セントラル病院　リハビリテーション科　係長　理学療法士
【評価者】西村卓也　泉佐野優人会病院　リハビリテーション部　エリア部長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
40-1	刈田　麻千子	准看護師	埼玉県	富家病院	医療療養病棟での新規褥瘡発生ゼロに向けた取り組み
40-2	石井　和基	理学療法士	千葉県	北総白井病院	リハビリテーション科職員における褥瘡対策意識と実践状況の調査
40-3	藤本　裕美子	看護師	山口県	宇部リハビリテーション病院	チェックシートを活用したリンクナース育成への試み
40-4	荻野　拓也	理学療法士	兵庫県	土井リハビリテーション病院	当院褥瘡ポジショニングチームの活用軌跡―組織から 10 年が経過して―
40-5	坂上　明規	理学療法士	大阪府	弥刀中央病院	療養病棟における褥瘡の改善要因の検討――栄養状態とリハビリテーション介入のあり方――
40-6	中島　昭彦	理学療法士	富山県	富山城南病院	褥瘡治療に超音波療法を用いた当院リハビリテーション科の取り組み
40-7	中山　裕之	作業療法士	徳島県	浜病院	体圧検知センサーを使用した自動体位交換ベッドの褥瘡リスク評価とヒューマンエラーについて

第14会場（大阪国際会議場 10F 1010）

41　11月6日（木）　13:40～15:00　慢性期医療の課題と対策

【座　長】西野鏡雄　千里リハビリテーション病院　診療部　医師

【評価者】増田知子　千里リハビリテーション病院　セラピー部　部長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
41-1	吉川　仁	放射線技師	奈良県	南和病院	骨密度値を用いた簡易データベース作成の試み
41-2	藤尾　浩二	放射線技師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	胸部デジタル X 線画像診断における　人工知能（AI）の判定数値と偽陽性部位の検証
41-3	中森　真之	作業療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	音声操作機器を用いたナースコールにおける効率検証
41-4	山口　奈美	臨床心理士	香川県	橋本病院	認知機能評価の視覚化についての試み
41-5	西岡　悠	看護師	徳島県	中洲八木病院	当院における高齢患者への食事支援の取り組み
41-6	阿部　万里英	理学療法士	東京都	永生クリニック	当クリニック装具診察の利用目的と利用者の傾向
41-7	琴崎　直美	看護師	北海道	札幌西円山病院	外国人看護補助者が安心・安全にやりがいを感じ、働き続けられるための支援
41-8	徳永　裕也	事務職	山口県	光風園病院	発電機を回し続けた 3 日間､私たちは何を見たか～長期間全館停電から見えた災害対策の盲点～

第15会場（大阪国際会議場 12F 1201）

42　11月6日（木）　13:40～15:10　看護師特定行為

【座　長】井口朋子　富家病院　看護部　部長　看護師

【評価者】村越大輝　富家千葉病院　リハビリテーション室　室長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
42-1	田村　絹代	看護師	群馬県	訪問看護ステーショングラーチア	なぜ在宅療養の現場で特定行為看護師の活躍が広がらないのか
42-2	竹中　志穂	看護師	静岡県	西山病院	特定行為研修修了者の活用ビジョンと実際の活動
42-3	榊原　まゆみ	看護師	千葉県	総泉病院	組織横断的に活動する特定行為看護師が多職種協働でもたらす効果
42-4	岩村　俊彦	看護師	大阪府	藍野病院	看護師特定行為の活動報告～医師の労働時間の削減効果について～
42-5	齋藤　美沙子	看護師	長野県	轟病院	慢性期病院における特定行為看護師活動の効果
42-6	中谷　布美子	看護師	群馬県	美原記念病院	脳梗塞による嚥下障害患者に対してバルーン拡張法を行った事例～チーム医療における特定認定看護師の役割～
42-7	上平　英子	看護師	鹿児島県	国分中央病院	人工呼吸器離脱への特定行為看護師の関与
42-8	沖田　聡嗣	看護師	滋賀県	琵琶湖養育院病院	医療療養型における特定看護師の役割と実践報告―長期人工呼吸器患者の自立支援と QOL 向上への取り組み―
42-9	沖田　聡嗣	看護師	滋賀県	琵琶湖養育院病院	PIVC 確保困難な高齢患者への MLC 導入の効果―特定看護師による静脈ルート確保の効率化とコスト削減の実践―

第16会場（大阪国際会議場 12F 1202）

43　11月6日（木）　13:40～14:50　看護①

【座　長】谷村睦美　神戸平成病院　看護部　副看護部長　看護師
【評価者】谷口珠代　鶴巻温泉病院　看護部　科長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
43-1	長尾　麻里	看護師	愛知県	安藤病院	「口から食べるバランスチャート（KTBC）」活用による食支援者への影響～介護・看護者の意識の変化～
43-2	桐ケ谷　政美	看護師	神奈川県	元気会横浜病院	療養病床入院中に経口摂取が確立した患者の看護実践
43-3	清水　陽香	准看護師	長野県	上條記念病院	包括的ケアにより経口摂取意欲が改善した一例
43-4	木戸　季彦	看護師	東京都	ねりま健育会病院	廃用症候群による嚥下障害に対し、看護師と言語聴覚士が協働することで嚥下機能の改善がみられた 1 症例
43-5	安部　斗与	看護師	兵庫県	園田病院	経腸栄養 2 回投与法導入のきっかけと導入までのプロセス
43-6	小西　俊介	看護師	埼玉県	霞ヶ関南病院	重度障害患者における刺激性下剤使用減少への取り組み
43-7	小林　由吏	看護師	東京都	鶴川リハビリテーション病院	療養病棟における個別性のあるレクリエーションの効果

44　11月6日（木）　15:00～16:10　看護②

【座　長】半村亜由美　富家千葉病院　看護部　部長　看護師
【評価者】畑中健二　　鶴巻温泉病院　看護部　科長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
44-1	山口　知恵	看護師	大阪府	弥刀中央病院	認知機能低下を有する高齢入院患者の不穏行動に対する看護実践の考察
44-2	中谷　総子	看護師	大阪府	市立貝塚病院	当院独自のせん妄評価システム導入前後の看護師の意識の変化
44-3	奥野　可菜子	看護師	富山県	富山西リハビリテーション病院	CBA 導入による多職種アプローチで見えた患者へのかかわりの変化と今後の課題
44-4	鈴木　雅晴	看護師	東京都	みなみ野病院	身体拘束カンファレンスにて身体拘束を外す取組み―チェックリストを用いて明確な判断基準を元に―
44-5	加藤　亜美	看護師	埼玉県	富家病院	障害者病棟における人工呼吸器装着患者の生存率向上と誤嚥性肺炎発症率低下に向けた取り組み
44-6	武島　弥生	看護師	大阪府	わかくさ竜間リハビリテーション病院	低定量持続吸引器装着患者の気管カニューレ管理―トラブルと対応策の実際―
44-7	板東　ゆう子	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	呼吸器患者の自立への一歩～自己吸引指導の可能性と看護の役割～

45　11月6日（木）　16:20～17:40　看護③

【座　長】樗木龍子　　永生病院　看護部　主任　看護師
【評価者】白波瀬元道　永生病院　法人本部　リハビリ統括部　統括課長　言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
45-1	髙橋　はるみ	看護師	千葉県	富家千葉病院	障碍者病棟における人工呼吸器装着患者の生存率・離脱向上に向けた取り組み
45-2	御前　遥香	看護師	兵庫県	西宮回生病院	急性期病棟での環境整備の実態調査と実践～統一した環境整備を継続するために～
45-3	野田頭　弘治	看護師	東京都	永生クリニック	救急の受け入れに関する問合わせの現状　問合せに対応する看護師の困難感、課題に関する質的研究
45-4	湊　綾子	看護師	大阪府	市立貝塚病院	看護師と薬剤師が協働した配薬カート導入の取り組み
45-5	森山　茉奈	看護師	高知県	高知城東病院	なぜ誤薬は減らないのか～アンケート調査を通してわかったこと～
45-6	高　永煜	看護師	東京都	大内病院	A 精神科病院で勤務している中堅看護師の就業継続に関する質的検討
45-7	塚崎　慎太郎	准看護師	大阪府	平成記念病院	A 病院における手指衛生の実態調査
45-8	澤近　真知子	准看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	手袋着用での汚染状況を可視化する

46　11月6日（木）　13:40～14:50　IoT・ロボット①

【座　長】原口友子　加治木温泉病院　総合リハビリテーションセンター　技士長　言語聴覚士
【評価者】白川卓　　橋本病院　地域連携室　主任　言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
46-1	正脇　一樹	介護福祉士	広島県	ナカムラ病院	眠り SCAN 使用がもたらす効果～患者、スタッフ共に安心したケア提供の為に～
46-2	助川　豊	生活相談員	茨城県	御前山フロイデガルテン	見守り介護ロボット「aams/アアムス」とインカム導入による業務改善について
46-3	武田　克章	介護福祉士	東京都	医療法人社団幹人会	見守りロボット全床導入により生産性は向上するのか?!―全床導入効果の測定と検証
46-4	阿波　明美	看護師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	病棟内における MEWS を用いた状態変化に対する早期発見～高齢者に多い肺炎に対しての効果～
46-5	佐藤　伸	介護福祉士	茨城県	看護小規模多機能ホーム友部	ICT 活用における生産性の向上―重度要介護者・終末期の方の受け入れ体制の構築―
46-6	井上　博貴	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテーション病院	クラウド型オフィスツールを使用しコストを抑えたリハスケジュールの見える化・業務改善を目指した実践報告
46-7	甲斐　さおり	看護師	広島県	ナカムラ病院	移乗サポートロボット Hug の使用による効果と課題

47　11月6日（木）　15:00～16:00　IoT・ロボット②

【座　長】野村美穂　　高良台リハビリテーション病院　リハビリテーション部　サブマネジャー　理学療法士
【評価者】河原真由美　平成扇病院　看護部　部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
47-1	齋藤　翔	理学療法士	東京都	緑成会病院	ロボット支援歩行訓練がパーキンソン病患者の運動機能に与える影響の検討
47-2	馬渡　貴大	理学療法士	福岡県	高良台リハビリテーション病院	ウェルウォーク導入による歩行改善効率の変化と歩行の早期獲得が在院週数に及ぼす影響
47-3	後藤　浩水	理学療法士	福岡県	新古賀リハビリテーション病院みらい	廃用症候群を呈した患者に対して腰 HAL を用いて立ち上がり動作・ADL 改善が図れた 1 症例
47-4	宮薗　頌太朗	理学療法士	石川県	芳珠記念病院リハビリテーションセンター	虚弱高齢者に対し腰 HAL を使用した結果、全身持久力の改善を認めた一例
47-5	鈴木　裕一	理学療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	加速度センサの臨床使用を通じた工学技術者に対する人材育成
47-6	徳永　早紀	理学療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	介助犬の認知度向上に向けての VR 作成

48　11月6日（木）　16:20～17:20　口腔ケア

【座　長】大野友久　陵北病院　歯科診療部長　歯科医師
【評価者】南村幸子　桜ヶ丘病院　看護部　看護主任　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
48-1	吉里　秀一郎	介護福祉士	埼玉県	特別養護老人ホーム大井苑	誤嚥性肺炎予防の取り組みについて
48-2	大澤　美砂子	看護師	千葉県	小林病院	院内の口腔ケア体制を整備したことによる職員の意識変化及び患者への効果―現状の把握と今後の展望―
48-3	林　千恵	看護師	山口県	宇部リハビリテーション病院	口腔ケアに介入する NST リンクナースの役割―口腔ケアチームとの連携を図る―
48-4	小野　朋子	歯科衛生士	山口県	光風園病院	「ROAG」の活用による口腔ケアの取り組み
48-5	中川　瑞人	言語聴覚士	富山県	流杉病院	OHAT-J を活用し経口摂取を目的とした口腔内環境づくりへの方法を導き出すまでの試み
48-6	加藤　真奈美	歯科衛生士	熊本県	桜十字病院	特殊疾患病棟における口腔ケア体制構築の取り組み

49　11月6日（木）　17:40～18:30　栄養マネジメント

【座　長】鞍田三貴　　千里リハビリテーション病院　栄養部　部長　管理栄養士
【評価者】阿部沙耶香　札幌西円山病院　栄養部　部長　管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
49-1	清島　匠	管理栄養士	神奈川県	介護老人福祉施設ヴィラ桜ヶ丘	介護保険施設における再入所時栄養連携加算算定に向けた ICT 導入とリーフレット活用の取り組み
49-2	溝川　真緒	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	回復期リハビリテーション病棟における女性患者に対しての多職種食事ラウンドの実践に関する一考察
49-3	森　祐也	理学療法士	大阪府	堺平成病院	サルコペニア特化型カンファレンスを実施したことによる入院患者の全身状態の変化・推移
49-4	田島　直実	管理栄養士	群馬県	美原記念病院	定期的な栄養管理が神経難病患者の栄養状態に与える影響
49-5	中尾　健太郎	医師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	NST 活動における漢方製剤の利用

一般演題　11月7日（金）

第3会場（大阪国際会議場 8F 801+802）

50　11月7日（金）　9:00～10:20　介護①

【座　長】木原真一　志田病院　介護保険部　部長　介護職

【評価者】石川明美　千里リハビリテーション病院　診療部　診療副部長　医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
50-1	福村　真奈美	介護福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院	風通しの良い職場をめざして
50-2	白石　智也	介護福祉士	愛媛県	南高井病院	介護職の定着を目指す～教育手順の見直しと実践評価基準の作成～
50-3	木下　香代	介護福祉士	大阪府	千里リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病院における介護職員への教育～アンケート調査で勉強会の形式をアセスメントする
50-4	小倉　和美	介護福祉士	千葉県	社会福祉法人　樹会	介護技能実習生の軌跡
50-5	阿部　しのぶ	介護福祉士	埼玉県	メディカルホームふじみ野	ADL カードを活用した効果～安全なケアをめざして～
50-6	古川　高志	介護福祉士	東京都	永生病院	介護士のパーキンソン病患者への困惑するケアに対してのアプローチ
50-7	佐久間　麻美	介護福祉士	愛媛県	道後温泉病院	正しいおむつのあて方講習の効果の検証と今後の課題
50-8	小貫　裕太	介護福祉士	北海道	苫小牧東病院	オムツマイスター・プロの活動報告～多職種連携によるスキントラブル改善へ向けた取り組み～

51　11月7日（金）　10:20～11:30　介護②

【座　長】浅田孝一　小林記念病院　特養安城　事務部　部長　理学療法士
【評価者】横川武　　堺平成病院　リハビリテーション部　エリア部長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
51-1	木築　加奈	介護福祉士	愛媛県	南高井病院	デイサービス利用によるパーキンソン病患者の ADL 向上に至るプロセス
51-2	野村　純代	介護福祉士	愛知県	並木病院	認知症患者に対する活動意欲向上を目指したアクティビティケア
51-3	白水　雅子	介護福祉士	福岡県	水城病院介護医療院	スライドボードを使用した安全な移乗介助～持続的なケアの充実を目指して～
51-4	室井　知子	介護福祉士	長崎県	燿光リハビリテーション病院	リスク回避に向けた取り組み～スタッフコール・センサー対応の意識向上に向けて～
51-5	田中　杏	介護福祉士	長崎県	燿光リハビリテーション病院	介護福祉士による退院指導に向けてフローチャートとチェックリストの開発とその評価～排泄・食事について～
51-6	坂本　佳子	介護福祉士	奈良県	秋津鴻池病院	回復期リハビリテーション病棟におけるケア表を用いた更衣のセルフケア自立への取り組み
51-7	高木　雅史	介護福祉士	山梨県	城東病院	「高齢者の自立支援への取り組みについて）―理学療法士が介護業務に従事する中で―

第4会場（大阪国際会議場 8F 803）

52　11月7日（金）　9:00～10:10　介護③・介護医療院①

【座　長】角田悠拓　鶴巻温泉病院　リハビリテーション部　主任　理学療法士
【評価者】鈴木和美　鶴川記念病院　看護部長室　副看護部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
52-1	中尾　成志	介護福祉士	福岡県	看護小規模多機能型居宅介護ゆのそピア	多職種連携により褥瘡が改善し在宅生活が可能となった一例
52-2	森田　裕子	介護福祉士	兵庫県	北摂中央病院	褥瘡発生ゼロへの取り組み～介護スタッフが主体的に取り組むには～
52-3	松元　崇史	事務職	兵庫県	介護医療院　トワイエ尼崎	新規新設 I 型介護医療院 144 床開設への取り組み
52-4	鶴居　勝也	薬剤師	富山県	公立南砺中央病院	介護医療院転換に向けた薬剤師による処方介入と薬剤費削減への取り組み
52-5	千葉　郁未	言語聴覚士	北海道	西円山病院介護医療院	LIFE のデータから自施設の特徴を知る―ST が関わるリハ・栄養・口腔に着目した分析と取り組みの振り返り―
52-6	原田　真	看護師	山口県	介護医療院　あかね	介護医療院における ACP 実践に向けての現状と課題～職員への意識調査からみえた思いと今後の方向性～
52-7	澤江　幸代	介護福祉士	岡山県	玉島病院介護医療院	不適切ケアを予防する取り組み～虐待の芽チェックリストを活用して見えてきたもの～

第5会場（大阪国際会議場 8F 804）

53　11月7日（金）　9:00～10:10　介護医療院②

【座　長】久野木里美　陵北病院　看護師長　看護師
【評価者】中西徳弥　　内田病院　地域医療連携室　マネジャー　社会福祉士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
53-1	堀場　真弓	介護福祉士	静岡県	介護医療院　ゆうかりの木陰	不適切ケア防止を目的とした研修実施と職員間のコミュニケーションの変化
53-2	國友　美代子	介護支援専門員	滋賀県	草津介護医療院	不適切なケアをなくすための取り組み～虐待チェックリストを活用し、日々のケアを振り返ろう～
53-3	吉田　美奈	介護福祉士	長崎県	介護医療院　恵愛荘	願いと共に生きる施設へ～「できない理由」ではなく「どうすれば実現できるか」～
53-4	矢岳　美弥子	看護師	長崎県	介護医療院　恵愛荘	介護医療院における転倒・転落防止の取り組み～ICT 機器を活用した多職種連携による安全対策～
53-5	西村　早代里	介護福祉士	鹿児島県	吉田記念病院介護医療院	ナッジ理論を用いた、腰痛に対するスタッフ負担軽減への取り組み
53-6	西隈　亮	作業療法士	福岡県	水戸病院	春には家に帰りたい～寝たきりからトイレ自立まで～
53-7	大坂　朋子	介護福祉士	埼玉県	大宮共立病院	介護医療院で看取りのケアを行う新人職員の思いの調査～より良い関わりを目指して～

54　11月7日（金）　10:20～11:30　介護医療院③

【座　長】工藤弘之　大久野病院　リハビリテーション部　部長　理学療法士
【評価者】伊勢正輝　鶴巻温泉病院　地域連携室　主任　事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
54-1	枝本　栄子	看護師	滋賀県	草津介護医療院	家族の思いに寄り添いながらチームで取り組む尊厳ある看取り～看取りカンファレンスを取り入れて～
54-2	佐古　真貴子	作業療法士	大分県	黒木記念病院	A-QOA（活動の質評価法）を用いた介護医療院での取り組み
54-3	菊池　和枝	看護師	静岡県	介護医療院　湖東病院	利用者様のストレス緩和のために～におい対策から生活の質の向上を目指して～
54-4	大泉　弘美	介護福祉士	静岡県	介護医療院　ゆうかりの木陰	オムツを外してしまう入居者への対応とケアの工夫
54-5	原田　真澄	歯科医師	福岡県	シーサイド病院	介護医療院におけるミールラウンドの取り組み
54-6	真杉　尚子	看護師	静岡県	介護医療院　ゆうかりの木陰	食支援に向けての体制の構築
54-7	田實　佑也	理学療法士	鹿児島県	加治木温泉病院	介護医療院に入所し拘縮予防を目的とした膝装具を作成した症例

第6会場（大阪国際会議場 8F 805）

55　11月7日（金）　9:00～10:20　介護医療院④・介護施設①

【座　長】石家美智香　南高井病院　2 病棟　看護師長　看護師
【評価者】平井光広　　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　病棟主任　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
55-1	山藤　剛史	作業療法士	滋賀県	草津介護医療院	草津介護医療院　離床活動の実践～2024 年度の活動を通じて～
55-2	南　大地	看護師	神奈川県	元気会横浜病院	感染症による隔離対応時においても、これまでの療養生活を継続できる関わりを通して学んだこと
55-3	白井　理紗	看護師	山口県	宇部リハビリテーション病院	介護医療院における看護師によるレクリエーション支援に向けた評価方法の検討
55-4	草野　由紀	言語聴覚士	東京都	高輪会／NS リヤンド株式会社	食べたい想いに寄り添う「Enjoy Eating プロジェクト」
55-5	河井　ともみ	准看護師	東京都	ケアセンターけやき	タッチケアにおける睡眠の質の改善（幸せホルモン・オキシトシンの分泌増加）
55-6	櫻井　真咲	理学療法士	神奈川県	ヴィラ南本宿	手指拘縮に対するハンドロールの効果～材質の違いが影響を与えるか～
55-7	村上　雅基	理学療法士	愛媛県	介護老人保健施設　アイリス	施設利用者の体調管理にむけた取り組み～心疾患を中心に～
55-8	高井　秀真	理学療法士	東京都	介護老人福祉施設　ケアホーム練馬	機能訓練と神経筋電気刺激療法を組み合わせた介入により転倒事故軽減を図った 1 例

56　11月7日（金）　10:20～11:40　介護施設②

【座　長】藤田慎一朗　倉敷スイートホスピタル　リハビリテーションセンター　センター長　理学療法士
【評価者】児嶋剛弘　　桜ヶ丘病院　看護部　看護主任　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
56-1	田尻　晴也	介護福祉士	茨城県	フロイデ総合在宅サポートセンター大宮	通所系サービスにおける健康運動指導士の関わり～自費サービス併用に向けて～
56-2	高瀬　未央	理学療法士	千葉県	ケアホーム船橋	介護老人福祉施設に従事する介護職員への短下肢装具に関するアンケート調査
56-3	パンティグ　チャリス	介護福祉士	兵庫県	小規模多機能型居宅あそか苑ももは	“個別支援のなんとなく”を卒業！～現場を変えるカンファレンス検討表～
56-4	久木田　大輝	管理栄養士	兵庫県	特別養護老人ホームあそか苑	3日間をつなぐチカラ！～“誰でもできる”備蓄食マネジメント～
56-5	小松　憲一	施設管理者	大分県	住宅型有料老人ホーム和楽苑	有料老人ホームにおける感染対策の数値化と『見える化』による COVID-19 対応
56-6	川井　涼平	理学療法士	徳島県	介護老人保健施設　明和苑	介護老人保健施設入所者の主観的 QOL 評価と客観的 QOL 評価の比較：DEMQOL、DEMQOL-Proxy を用いて
56-7	前田　俊輔	事務職	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	介護現場での ICT を用いた生産性向上の考察～生産性向上の成果を出す再現性について（老健局効果検証より）～
56-8	樋口　朱斗	介護福祉士	茨城県	フロイデ小規模多機能ホーム勝田	全世代・全対象型地域包括ケアタウンの構築誰もが暮らせるまちづくりを目指して

第7会場（大阪国際会議場 8F 806）

57　11月7日（金）　9:00～10:10　患者・家族とのかかわり①

【座　長】永田雅治　新栄会病院　院長　医師
【評価者】尾山直樹　橋本病院　回復期リハビリテーション病棟　病棟主任　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
57-1	星　亜紀	看護師	宮城県	石巻健育会病院	外来看護師がつなぐ患者の思い～ACP 介入のタイミングと支援
57-2	扇谷　明日梨	看護師	北海道	花川病院	対話を通して家族間の意思決定を支える
57-3	雨宮　博美	管理栄養士	東京都	介護医療院陵北病院	家族と一緒に食べる喜びを再び
57-4	佐藤　篤志	作業療法士	埼玉県	霞ヶ関南病院	家族と一緒に行う個別性の高いケア～家族アンケートを活用して～
57-5	二見　邦彦	作業療法士	東京都	特別養護老人ホーム藤香苑	職員の服装が特別養護老人ホームの利用者心理に与える影響
57-6	棟長　未稀	介護福祉士	岡山県	柴田病院	アロマによるリラックス効果～療養生活に癒しを・・・～
57-7	津田　佳代	理学療法士	宮城県	石巻健育会病院	患者の主観的・客観的幸福度向上のための「タッチング」を取り入れた活動の報告

58　11月7日（金）　10:20～11:20　患者・家族とのかかわり②

【座　長】中村大輔　元気会横浜病院　副院長　医師・作業療法士
【評価者】柳川竜一　セントラル病院　リハビリテーション科　係長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
58-1	坂本　えりな	介護福祉士	広島県	グループホームつぼい	「その仕事、私にまかせて！」～経験を活かしていきいきと～
58-2	山本　有希	介護福祉士	広島県	ナカムラ病院	帰宅希望がある方の環境を変える事でみられる変化
58-3	嶋﨑　充	作業療法士	東京都	みなみ野病院	医療療養病棟におけるボツリヌス療法―安楽な療養生活を希望する家族の思いに寄り添う作業療法士の視点―
58-4	工藤　舞生	臨床心理士	埼玉県	富家病院	施設入居後に高圧的な態度がみられた重度四肢麻痺患者との心理面接と連携支援の試み
58-5	松本　耕太	作業療法士	福岡県	京町病院	認知症老々介護の入院を経験して
58-6	栗田　浩次	理学療法士	富山県	サンバリー高岡病院	在宅介護の長期化に伴う病状変化～鏡現象について～

第8会場（大阪国際会議場 10F 1001～1003）

59　11月7日（金）　9:00～10:10　理学療法④

【座　長】吉村直也　千里リハビリテーション病院　5 病棟　副主任　理学療法士
【評価者】松原研斗　小林記念病院　デイケアセンター　所長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
59-1	和泉　悠也	理学療法士	大阪府	堺平成病院	大腿切断患者に対する歩行訓練機器の使用が歩行能力および膝折れ不安に与える影響
59-2	奥秋　万純	理学療法士	東京都	平成扇病院	膵癌増悪患者の ADL と QOL の維持と向上 BSC に基づいたリハビリ介入
59-3	井下　遥香	理学療法士	香川県	橋本病院	心原性脳塞栓症により姿勢定位・サッケードの障害を呈した一症例～掃除動作獲得を目指して～
59-4	山本　樹	理学療法士	埼玉県	新久喜総合病院	右重度片麻痺を呈したがソックスエイドを使用し靴下着脱動作が自立となった脳梗塞の一症例
59-5	石田　優樹	理学療法士	東京都	まちだ丘の上病院	重度認知症患者への運動療法で疼痛が改善した一症例―PAINAD を用いた検証―
59-6	伊藤　華那	理学療法士	東京都	小平中央リハビリテーション病院	筋萎縮性側索硬化症 1 症例における 3 種類の体位を併用した lung volume recruitment トレーニングによる効果
59-7	若山　瑞城	理学療法士	北海道	定山渓病院	フレイル外来から外来リハビリに繋がり活動範囲が拡大した事例

60　11月7日（金）　10:20～11:30　作業療法①

【座　長】吉田慎一郎　光風園病院　リハビリテーション部　OT 主任　作業療法士
【評価者】樗木龍子　　永生病院　看護部　主任　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
60-1	佐々井　つかさ	作業療法士	愛知県	介護医療院名南ふれあい病院	介護医療院での自立支援～トイレ内排泄への強い拒否が「嬉しい！」へ変わるまで～
60-2	田中　陽大	作業療法士	大阪府	淀川平成病院	続発性水頭症シャント術後の患者に対し，MTDLP を用いて介入したことで趣味活動の再開まで至った事例
60-3	益山　愛理	作業療法士	東京都	永生病院	慢性心不全患者に対し患者教育と多職種連携を行い包括的な退院支援を行った一症例
60-4	織　茉莉	作業療法士	長野県	轟病院	筋萎縮性側索硬化症患者（ALS）に対する意思伝達装置選定取り組み
60-5	炭谷　真輝	作業療法士	石川県	千木病院	残存機能の活用により意思伝達装置の使用が可能となった症例
60-6	池原　涼子	作業療法士	沖縄県	大浜第二病院	当療養型病棟における重度褥瘡を有する脊髄損傷患者への作業療法士（OT）の役割
60-7	中原　悠翔	作業療法士	奈良県	奈良東病院	情緒的支援が高齢脳卒中患者のリハビリテーション参加度および QOL に与えた影響―症例報告―

61　11月7日（金）　9:00～10:20　作業療法②

【座　長】小川輝史　定山渓病院　リハビリテーション部　部長　作業療法士
【評価者】中村春基　千里リハビリテーション病院　セラピー部　副院長　作業療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
61-1	長野　加奈	作業療法士	山口県	光風園病院	観念運動失行を呈した症例に対する食事動作に着目した作業療法～箸の操作獲得を目的としたアプローチ方法～
61-2	八木澤　亜季	作業療法士	東京都	緑成会病院	軽度片麻痺患者に Brain-Machine Interface を実施し手指伸展スピードが改善した一例
61-3	森山　泰斗	作業療法士	香川県	橋本病院	半側空間無視・注意障害を呈した症例に介助量軽減を目指して
61-4	井上　剛	作業療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	重度片麻痺を呈した患者に対して，市販の低価格補助箸を活用し，非利き手での箸操作獲得を目指した一例
61-5	木村　紗菜	作業療法士	埼玉県	埼玉セントラル病院	重度認知症患者に対する VQ を用いた活動内容の検討
61-6	市來　里美	作業療法士	東京都	介護医療院セントラル大田	介護医療院における作業療法士の役割～介護老人保健施設からの転換を通じた実践的考察～
61-7	西田　龍一	作業療法士	兵庫県	西宮回生病院	介助拒否を示す高齢患者に対して環境を整えることで離床して TV 視聴および他者との交流を再開できた一例
61-8	大石　悠太	作業療法士	神奈川県	青葉さわい病院	手指の使いづらさを訴える患者に対し，主観的評価ツールを用いて，大切な役割を再獲得した事例

62　11月7日（金）　10:20～11:30　作業療法③

【座　長】阪井之哉　霞ヶ関南病院　地域連携室　室長　作業療法士
【評価者】大野友久　陵北病院　歯科診療部長　歯科医師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
62-1	戸松　あかね	作業療法士	北海道	聖ヶ丘病院	ペットボトルキャップを活用したパズルの作成と治療場面での実施報告
62-2	辻　裕成	作業療法士	香川県	橋本病院	高位脊髄損傷者のポータブルスプリングバランサーを使用した食事動作獲得に向けて、座位姿勢に着目した一例
62-3	山本　三奈	作業療法士	静岡県	熱川温泉病院	精神機能賦活や目標共有がトイレ動作の自立度向上に繋がった一例
62-4	太田　瑠斗	作業療法士	宮城県	西仙台病院	遷延識障害に対し視線入力装置を用いたことで脳波と重症度が改善した症例
62-5	飯野　雄太	作業療法士	群馬県	美原記念病院	自動車運転の再開可否を判断する臨床アルゴリズムの作成～過去のデータを用いた妥当性の検討～
62-6	加藤　大生	作業療法士	東京都	大橋病院	就労的活動支援を慢性期リハビリテーション科で実践した事例
62-7	平野　真琴	作業療法士	東京都	あきしま相互病院	超高齢・頸椎骨折患者と第三の人生を考える～療養病棟での複合的な作業療法プローチ～

63　11月7日（金）　9:00～10:20　作業療法④

【座　長】古賀俊貴　高良台リハビリテーション病院　臨床部　マネジャー　作業療法士
【評価者】畑中仁志　淀川平成病院　リハビリテーション部　エリア部長　理学療法士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
63-1	西岡　大毅	作業療法士	大阪府	平成記念病院	離床の推進で不安・抑うつ状態と QOL が改善した糖尿病を伴った人工膝関節周囲骨折後の症例
63-2	加藤　莉々香	作業療法士	東京都	大久野病院	「ステンドグラス教室再開」を目標に MTDLP にてサポートした症例
63-3	嶋田　侃太	作業療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	外傷性くも膜下出血後に易怒性を呈し、介入に難渋した症例
63-4	犀川　智子	作業療法士	富山県	公立南砺中央病院	自動車運転支援マニュアル作成とその有用性の検証～事前・事後アンケートと個別事例からの考察～
63-5	浅井　麗	作業療法士	東京都	みなみ野病院	医療療養病棟における作業療法士の役割―看護師との連携により合意目標を達成した慢性期の頚髄損傷の一例―
63-6	百井　孝顕	作業療法士	静岡県	駿河西病院	成功体験の積み重ねによる心理的変化から生活の行動変容に至った重度運動性失語症者の 1 症例
63-7	沼谷　太一	作業療法士	和歌山県	桜ヶ丘病院	長期入院患者に対し多職種で介入した園芸活動が心理面へ及ぼす効果
63-8	森　翼	作業療法士	東京都	東京大和病院	社会交流の減少から身体機能の低下を呈した症例にフレイルの視点から作業機会の再獲得を図った一例

64　11月7日（金）　10:20～11:20　言語聴覚療法

【座　長】名古将太郎　千里リハビリテーション病院　セラピー部　コーチ　言語聴覚士
【評価者】髙石義浩　　北条病院　院長　医師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
64-1	北條　萌々花	言語聴覚士	神奈川県	相和病院	人工呼吸器を装着した状態で発声が可能になり QOL の向上に繋がった 1 例
64-2	石橋　尚基	言語聴覚士	千葉県	新八千代病院	軟口蓋挙上装置・舌接触補助床併用装置を使用し社会参加を実現した構音障害の 1 例
64-3	田中　琢人	言語聴覚士	和歌山県	中谷病院	認知機能低下を合併したウェルニッケ失語の 1 例～仮名文字チップとペーシングボードを使用した訓練経過～
64-4	梅田　菜々香	言語聴覚士	神奈川県	平成横浜病院	左視床出血による記憶障害に対して外的補助手段であるメモリーノートを使用した症例
64-5	赤嶺　洋子	言語聴覚士	沖縄県	大浜第二病院	発動性低下のある中で伝えた「食べたい」に応えるために行った先行期・準備期への介入の工夫
64-6	耳田　伸寛	言語聴覚士	福岡県	上野病院	精神科病院にて言語聴覚療法室新規開設後 3 年間のデータからみる在院日数の短期化と言語聴覚士の必要性

65　11月7日（金）　9:00～10:20　リハ全般①

【座　長】村越大輝　富家千葉病院　リハビリテーション室　室長　理学療法士
【評価者】林恵子　　島の病院おおたに　看護部　部長　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
65-1	的場　孝盛	医師	千葉県	初富保健病院	COVID-19 感染拡大による病棟閉鎖の音楽療法対象患者への影響
65-2	帰山　玲	理学療法士	北海道	愛全病院	その人らしく豊かな生活を送るために～医療療養病棟における離床時間と意欲の関連性～
65-3	沖澤　武志	理学療法士	福島県	いわき湯本病院	療養病棟入院患者の不安に関する実態調査
65-4	市川　智也	理学療法士	和歌山県	平成デイサービスセンター海南	当デイサービス利用者に対する機能訓練満足度及び要望調査
65-5	小澤　裕太	理学療法士	北海道	道南ロイヤル病院	慢性期病院における高度肥満患者様の QOL 改善に向けた挑戦
65-6	川合　祐貴	理学療法士	北海道	聖ヶ丘病院	当院慢性期病棟での心大血管リハビリテーションの取り組み～集団リハビリが精神面に与える影響に着目して～
65-7	渡邉　朋之	理学療法士	静岡県	湖山リハビリテーション病院	療養病棟入院患者における位相角を用いた群分けと体組成変化の臨床的意義に関する研究
65-8	大和田　敦	理学療法士	東京都	青梅三慶病院	終末期肺炎のリハビリテーションと予後予測～臨床的評価と生存期間の解析から～

66　11月7日（金）　10:20～11:40　リハ全般②

【座　長】江藤潤　　島の病院おおたに　リハビリテーション部　部長　理学療法士
【評価者】比留間祐介　みなみ野病院　医療技術部　副部長　薬剤師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
66-1	河面　雅俊	理学療法士	滋賀県	ひかり病院	慢性期病院入院患者の FIM 運動項目難易度の序列の検討―Rasch 分析による車椅子群、歩行群の ADL 構造分析―
66-2	南澤　拓美	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	短縮版歩行自立評価表 Independent Ambulation Scale-Short（IAS-S）の検者間信頼性の検討
66-3	善明　真梨奈	作業療法士	福岡県	北九州湯川病院	高齢がん患者の機能改善と転帰に関する後方視的検討
66-4	松田　壮広	作業療法士	岐阜県	愛生病院	車椅子座位姿勢の変化～2 種類の車椅子の比較～
66-5	戸枝　亮	作業療法士	埼玉県	イムス三芳総合病院	当院のがん患者に対しオピオイド回診による疼痛評価と疼痛緩和に向けたリハビリテーションの関わりについて
66-6	菅沼　南帆	作業療法士	埼玉県	富家病院	肺合併症を有する人工呼吸依存患者に対する体外式人工呼吸による介入の効果について
66-7	若村　陽香	理学療法士	高知県	愛宕病院分院	外的補助手段を除去することにより展望的記憶が改善した慢性期の脳幹出血の症例
66-8	平井　仁	理学療法士	埼玉県	平成の森・川島病院	脳出血による意識障害が遷延した重度片麻痺患者に対する抗重力肢位刺激とスマートフォンの併用の 1 例

第9会場（大阪国際会議場 10F 1004+1005）

67　11月7日（金）　9:00～10:20　リハ全般③

【座　長】和田幸枝　南高井病院　リハビリテーション科　科長　理学療法士
【評価者】松浦美香　志田病院　看護部　部長　看護師

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
67-1	荒井　和	理学療法士	徳島県	徳島平成病院	当院デイケア利用者における足関節底屈筋群のトレーニングがバランス能力および転倒恐怖感に及ぼす影響
67-2	日巻　昌子	言語聴覚士	東京都	鶴川記念病院	覚醒向上により中心静脈栄養から経口摂取へ移行した一症例
67-3	町尻　麻美	作業療法士	愛媛県	南高井病院	本人が重要とする作業の焦点化と志向に沿った環境で、遂行度・満足度が向上した頸椎損傷の一事例
67-4	平林　克得	理学療法士	大分県	和田病院	健康寿命延伸へ～健康予防事業としてのフィットネス開始～
67-5	中田　僚	理学療法士	北海道	道南ロイヤル病院	過疎地域における切れ目ないリハ提供の実践と地域貢献の可能性
67-6	牛尾　翔子	理学療法士	福岡県	北九州湯川病院	当院における自宅退院者の退院時移動手段とその傾向について
67-7	江熊　優	理学療法士	福岡県	北九州湯川病院	当院医療療養病棟を退院した患者の自宅退院に必要な因子の検討
67-8	藤末　健一	理学療法士	福岡県	北九州湯川病院	療養型病院における退院患者の現状と FIM に関する一考察

68　11月7日（金）　10:20～11:40　リハ全般④

【座　長】柚田真知子　新栄会病院　リハビリテーション課　課長　理学療法士
【評価者】鞍田三貴　　千里リハビリテーション病院　栄養部　部長　管理栄養士

〈第13回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
68-1	山田　隆司	理学療法士	大阪府	リハビリデイ河北	通所型サービスＣで改善した身体機能はいつまで維持できるのか？
68-2	田中　秀和	作業療法士	神奈川県	北小田原病院	慢性期精神科病院リハビリテーション科におけるエンゲージメントの傾向と対策
68-3	岡部　修二	言語聴覚士	兵庫県	介護老人保健施設　ケアホーム東浦	リハビリテーションスタッフの認知症の人に対する態度の実態調査～認知症チームの活動に向けて～
68-4	津田　まさみ	理学療法士	山口県	安岡病院	リハビリテーション科における感染対策についての意識調査～感染マニュアルを作成して～
68-5	谷　和真	理学療法士	千葉県	北総白井病院	病院職員における腰痛の現状把握調査
68-6	飯野　朝美	作業療法士	埼玉県	上尾中央第二病院	動画を用いた症例検討会によるFIM向上の効果について～移乗・移動を中心に～
68-7	宗田　和高	理学療法士	島根県	介護老人保健施設仁寿苑	『ビフォーアフター』勉強会の導入とその成果―在宅療養支援におけるプロセス課題を克服する―
68-8	岡村　洋克	理学療法士	埼玉県	上尾中央第二病院	診療参加型実習に対する当院の課題

第10会場（大阪国際会議場 10F 1006+1007）

69　11月7日（金）　9:00～10:20　業務改善②

【座　長】岡田誠志　定山渓病院　経営管理部　部長　事務
【評価者】梅津光香　定山渓病院　看護部　部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
69-1	中村　萌子	理学療法士	広島県	ナカムラ病院	腰痛ゼロを目指した取り組みについて
69-2	大場　潤子	介護福祉士	静岡県	和恵会ケアセンター	外部サポート・機器導入から実践できた負担軽減と時間削減～排泄ケア・飲料とろみ付け作業の見直し～
69-3	本間　吉晃	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	透析患者に寄り添う看護ケアの質向上に向けた業務改善の取り組み
69-4	原田　節子	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院	内視鏡室における転倒予防の取り組み～麻酔法で胃カメラを受けた受験者に安静時間を守ってもらうために～
69-5	石川　朝子	作業療法士	北海道	札幌西円山病院介護医療院	目指せ業務改善！―介護医療院における生産性向上 WG の活動と業務改善効果―
69-6	戸田　英一	介護福祉士	埼玉県	大井苑	介護現場の生産性向上目指して～ペーパーレス化へ向けて～
69-7	福間　宏喜	介護福祉士	鳥取県	養和病院介護医療院	介護医療院における DX と多様人材活用による生産性向上の検証
69-8	野村　徳子	看護師	千葉県	初富保健病院	入浴介助における時間短縮と職員負担軽減への取り組み～改善策の実施とその効果～

70　11月7日（金）　10:20～11:40　業務改善③

【座　長】安本友子　豊中平成病院　看護部　関西看護スーパーバイザー　看護師
【評価者】小川佳代子　富家病院　リハビリテーション室　室長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
70-1	上田　咲子	保健師	島根県	加藤病院	Web アプリケーションを利用した職員の予防接種歴、抗体価の統合管理に向けた取組み
70-2	冨永　瑠美	事務職	佐賀県	志田病院	ICT を用いた消耗品棚卸し作業の業務負担軽減について
70-3	寒風澤　正和	事務職	佐賀県	志田病院	外来データ提出加算算定に向けた取り組み
70-4	大谷　祐之	医師	埼玉県	富家病院	私たちの考える“されたい”
70-5	宇梶　智子	看護師	千葉県	初富保健病院	病棟看護職員の入院受け入れ業務効率化の取り組み～業務プロセスの可視化とタイムスタディの効果～
70-6	児玉　悠佳	事務職	鹿児島県	加治木温泉病院	診療情報管理室における業務改善に向けた取り組み～RPA 導入による効率化～
70-7	梅田　裕貴	理学療法士	東京都	南多摩病院	業務標準化を目的としたマニュアル拡充の初期評価―職員アンケートによる現状把握と課題抽出―
70-8	村松　優仁	理学療法士	静岡県	すずかけヘルスケアホスピタル	当院におけるプレゼンティーイズムを改善させる要因を明らかにする為の予備調査

第11会場（大阪国際会議場 10F 1008）

71　11月7日（金）　9:00～10:00　地域連携①

【座　長】須賀晴彦　富家千葉病院　院長　医師
【評価者】諸江伸龍　永生病院　リハビリテーション部　係長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
71-1	田中　薫	介護福祉士	埼玉県	デイサービスセンター志木瑞穂の森	近隣デイサービスとの合同レク～協力する事での相乗効果～
71-2	山﨑　もも子	社会福祉士	北海道	道南ロイヤル病院	「地域で集まるチーム支援」連携を超えたその先へ～老々介護支援の実践から～
71-3	伊藤　悠之介	作業療法士	北海道	聖ヶ丘病院	地域在住高齢者にリハビリテーション専門職が関わる意義について
71-4	豊田　平介	理学療法士	東京都	永生会　法人本部	介護予防・日常生活支援総合事業における短期集中予防サービスの効果～フレイル基準の視点から～
71-5	新井　里彩	管理栄養士	東京都	みなみ野病院	回復期リハビリテーション病棟での退院後を見据えた栄養管理～多職種連携と地域とのつながり～
71-6	鈴木　拓海	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	遠方に居住する患者に対する家屋調査代行サービスを活用した退院支援の実際と課題

72　11月7日（金）　10:20～11:20　地域連携②

【座　長】小林達也　島の病院おおたに　副院長　医師
【評価者】清宮大翔　平成扇病院　リハビリテーション部　課長　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
72-1	春山　寛実	管理栄養士	岐阜県	近石病院	PEG 栄養管理中の透析患者さんで、病院間連携を行い、多職種介入により経口摂取へ移行できた一例
72-2	井上　和之	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	病床稼働率 100% 以上を目指して
72-3	小林　裕恵	社会福祉士	島根県	鹿島病院	慢性期病院に求められる地域連携～地域ニーズアンケート調査からの考察～
72-4	近藤　未空	社会福祉士	愛知県	小林記念病院	協力医療機関連携カンファレンスを通じた医療・介護連携の現状と課題
72-5	加藤　彩芳	社会福祉士	北海道	札幌西円山病院	病診連携の推進における広報活動の重要性～訪問診療との連携で広がる慢性期病院の役割～
72-6	工藤　清香	事務職	北海道	道南ロイヤル病院	慢性期病院における地域医療連携強化を目的とした営業活動の取り組みについて

第12会場（大阪国際会議場 10F 1009）

73　11月7日（金）　9:00～10:20　チーム医療①

【座　長】吉尾雅春　　千里リハビリテーション病院　セラピー部　筆頭副院長　理学療法士
【評価者】半村亜由美　富家千葉病院　看護部　部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
73-1	岩佐　朋子	管理栄養士	千葉県	総泉病院	NST 活動の有用性と限界～病棟単位型チーム医療の重要性～
73-2	日野　多加美	歯科衛生士	千葉県	新八千代病院	多職種連携による摂食嚥下支援の展開と実績―摂食嚥下歯科外来の取り組みを通して―
73-3	伊藤　真弓	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	認知症サポートチームの介入による身体的拘束の適正化と拘束率減少に向けた取り組み
73-4	桑田　慎也	看護師	埼玉県	川越リハビリテーション病院	メンズ育休白書。～実録！！パパ育休をとった者たち～
73-5	渡辺　裕樹	理学療法士	東京都	まちだ丘の上病院	20 歳台から 60 歳までいる療養リハ科がどうしたら元気なるか？
73-6	岩瀬　美咲	言語聴覚士	静岡県	掛川北病院　通所リハビリテーション	「リハ・口腔・栄養の一体的取り組み」を意欲的に実行するため、職員の内発的動機付けを高めた取り組み
73-7	安藤　薫	看護師	大阪府	緑水会病院	効果的な情報共有への取り組み
73-8	津幡　まどか	介護福祉士	大阪府	藍野病院	チーム医療推進の一環として介護福祉士による介護教育体制が組織化されるまで

74　11月7日（金）　10:20～11:30　チーム医療②

【座　長】郷久真樹子　札幌西円山病院　看護介護部　師長　看護師
【評価者】西野鏡雄　　千里リハビリテーション病院　診療部　医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
74-1	阿部　優美	看護師	北海道	札幌西円山病院	ノーリフトケア導入に向けた主任看護師としての取り組み
74-2	徳永　智史	作業療法士	茨城県	牛尾病院	チーム内のコミュニケーションが心理的安全性および仕事継続意思に及ぼす影響
74-3	大城　清一	介護福祉士	沖縄県	大浜第二病院	インターコミュニケーションシステム導入による医療現場の有用性について
74-4	山本　妙子	理学療法士	山口県	宇部西リハビリテーション病院	当院医療療養病棟における多職種によるポジショニングの取り組み～病棟スタッフの意識と行動変化～
74-5	清水　恵莉	准看護師	静岡県	掛川北病院	リハビリと協働して取り組んだ拘縮予防の効果～ミトンの変更と可動域訓練を行って～
74-6	小林　愛	作業療法士	埼玉県	大宮共立病院	ベッド上ポジショニングに関する現状と課題の抽出～当院病棟スタッフへのアンケート調査より～
74-7	中田　恭輔	理学療法士	北海道	愛全病院	当院におけるポジショニングのスムーズな伝達と継続に向けて～豊かな生活を見据えて私たちが取り組むこと～

75　11月7日（金）　9:00～10:20　チーム医療③

【座　長】増田知子　千里リハビリテーション病院　セラピー部　部長　理学療法士
【評価者】野村美穂　高良台リハビリテーション病院　リハビリテーション部　サブマネジャー　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
75-1	田丸　千尋	作業療法士	福岡県	新栄会病院	療養病床におけるリハビリ間接介入の取り組み
75-2	門田　加奈美	看護師	愛媛県	松山西病院	残存機能を生かした移乗方法を介護士が身につけるプロセス　透析患者のフレイル予防キャンペーンを実施して
75-3	山下　順子	介護福祉士	山梨県	城東病院	リハビリテーション介護の実現に向け
75-4	河西　友美	作業療法士	山梨県	城東病院	「食べたい」希望を引き出す高齢者総合機能評価（CGA）
75-5	小林　涼	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	装具作製における理学療法士と義肢装具士の認識差と連携課題の分析
75-6	竹谷　ユキ子	准看護師	東京都	京浜病院	退院支援の構築を目指したチーム活動～他職種連携を活かしたチームアプローチ～
75-7	大森　真央人	理学療法士	香川県	永生病院介護医療院	他法人事業所との連携を図り介護医療院より在宅復帰した症例
75-8	島袋　乃梨子	理学療法士	沖縄県	大浜第二病院	3年間の長期介入の中で多職種と連携を図り施設退院に至った症例

76　11月7日（金）　10:20～11:30　チーム医療④

【座　長】小坂安枝　光風園病院　看護部　看護副部長　看護師
【評価者】井口朋子　富家病院　看護部　部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
76-1	岡本　久恵	社会福祉士	広島県	島の病院おおたに	一人暮らしを切望する頚髄損傷完全四肢麻痺・人工呼吸器装着患者の退院支援
76-2	貴島　真佐子	歯科医師	大阪府	わかくさ竜間リハビリテーション病院	胃全摘既往の高齢嚥下障害患者に対する包括的支援―腹部不快感・精神的不安を伴う一症例―
76-3	新納　美沙	看護師	大分県	和田病院	患者の『食べたい』思いに寄り添う～気管カニューレ抜去を試みて～
76-4	中山　絵梨香	看護師	茨城県	志村大宮病院	地域包括医療病棟における末梢静脈点滴困難に至った高齢入院患者の転帰に関する検討
76-5	大園　博之	介護支援専門員	埼玉県	富家病院	「もう、どうしたらいいのかわからない」強い易怒性、帰宅願望、多職種連携の重要性について考える
76-6	田中　倖生	理学療法士	熊本県	谷田病院	ポラプレジンクが奏効した味覚障害を伴う入院高齢女性の一例
76-7	細川　美鈴	看護師	沖縄県	牧港中央病院	透析患者の皮膚掻痒における個別的ケア介入を通して

第13会場（大阪国際会議場 10F 主催者控室10-1+10-2）

77　11月7日（金）　9:00～10:10　スタッフ育成①

【座　長】河原真由美　平成扇病院　看護部　部長　看護師
【評価者】正木路加　　千里リハビリテーション病院　感染対策室　室長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
77-1	三富　佑哉	理学療法士	東京都	鶴川サナトリウム病院	療養病棟における呼吸ケア教育の試みと看護意識の変化
77-2	塩田　晃久	看護師	大阪府	藍野病院	精神身体合併症病床における BLS 普及・定着に向けた取り組み
77-3	白井　敦士	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	リハビリテーション病院における急変時対応研修の充実を目指して―事例別シミュレーション研修を導入して―
77-4	辻村　健太	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	特定看護師による人工呼吸器装着患者を受け持つスタッフの育成
77-5	清水　里加	看護師	長崎県	南野病院	緩和ケア病棟で中途採用者への教育体制の検討―ミーティングによるディスカッションから見えてきたもの―
77-6	久保田　靖子	看護師	静岡県	きせがわ病院	主任の看護管理能力を高める教育支援～Off - JT と看護師長による OJT を実践して～
77-7	塩田　美佐代	看護師	静岡県	きせがわ病院	医療療養病棟から地域包括ケア病床への転換に伴う意識改革と教育支援～グロースマインドセットを促進する～

78　11月7日（金）　10:20～11:20　スタッフ育成②

【座　長】岡本成以子　南高井病院　看護部長　看護師
【評価者】谷村睦美　　神戸平成病院　看護部　副看護部長　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
78-1	田中　弓子	看護師	島根県	加藤病院	中山間地域小規模慢性期多機能病院におけるキャリア形成支援―全職員対象スキルアップの取り組み―
78-2	山田　雅司	理学療法士	富山県	北陸中央病院	理学療法教育における共同学習（2 対 1）モデルでの当院の取り組みについて
78-3	伊藤　功騎	理学療法士	東京都	緑成会病院	リハビリテーション新入職員の新人研修前後の不安の変化―つなぎてとして新人研修実施後のアンケート調査―
78-4	一色　俊範	作業療法士	千葉県	富家千葉病院	「性格検査」を用いたプリセプター制度導入の経過：作業療法部門の一考察
78-5	神田　三幸	看護師	三重県	長島中央病院　介護医療院	「認知症利用者への対応能力向上」への取り組み～パーソン・センタード・ケアを目指して～
78-6	鈴木　雅大	介護福祉士	三重県	長島中央病院	口腔ケアに対する職員の意識への取り組み

第14会場（大阪国際会議場 10F 1010）

79　11月7日（金）　9:00～10:20　スタッフ育成③

【座　長】百戸直子　大久野病院　看護部　部長　看護師
【評価者】田邊夏美　橋本病院　通所リハビリテーションセンター　センター長　作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
79-1	廣田　香	看護師	大阪府	照葉の里箕面病院	中規模療養型病院での介護福祉士ラダー作成・運用の取り組み
79-2	中澤　祐介	介護福祉士	山梨県	城東病院	介護・ケアにリハビリテーションの視点を～理学療法士から介護福祉士になって～
79-3	永石　朋美	看護師	大分県	和田病院	急性期病棟における未経験看護補助者の育成～看護師主導による協働と育成のプロセス～
79-4	上田　智加	看護師	兵庫県	宮地病院	看護補助者ラダー導入による人材育成
79-5	相薗　真紀子	介護福祉士	福岡県	水城病院	【技能実習生の受け入れと現場実習指導】～ミャンマー語での業務マニュアル作成と OJT での活用～
79-6	和田　道枝	介護福祉士	茨城県	大宮フロイデドルフ	国際人材教育を経て気付かされた課題と必要性～福祉の未来のために取り組んだこと～
79-7	小野寺　淳子	介護福祉士	千葉県	富家リハビリセンター花見川	介護技能実習生育成の現状
79-8	パヒランガ サイリン	介護福祉士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	外国人介護技能実習生から介護福祉士となるまでのプロセス

第15会場（大阪国際会議場 12F 1201）

80　11月7日（金）　9:00～10:00　栄養管理①

【座　長】新枦義之　鶴巻温泉病院　診療技術部　薬剤科　科長　薬剤師
【評価者】原口友子　加治木温泉病院　総合リハビリテーションセンター　技士長　言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
80-1	近藤　久美子	管理栄養士	東京都	介護医療院陵北病院	新しい食形態を導入し入所者の意欲が向上した 2 症例
80-2	榮　朋子	管理栄養士	富山県	西能みなみ病院	嚥下調整食 4 導入の取り組みと食欲に与える影響について
80-3	市川　峻平	調理師	島根県	安来第一病院	ゲル化剤の使い分けによるソフト食の食感の改善に向けた取り組み
80-4	寺岡　修己	管理栄養士	兵庫県	南淡路病院	写真入りメニューの活用による食欲不振に対する影響
80-5	巻田　幸緒	管理栄養士	愛媛県	南高井病院	「もう一度口から食べる」を実現した症例の経過
80-6	黒木　真子	管理栄養士	和歌山県	介護老人福祉施設　緑風苑	“食べる”をあきらめない支援～診断に左右されず、本人の希望に応えた多職種の取り組み～

81　11月7日（金）　10:20～11:20　栄養管理②

【座　長】白川卓　　橋本病院　地域連携室　主任　言語聴覚士

【評価者】野本正仁　美原記念病院　リハビリテーション部　訪問リハビリテーション課　課長代行　理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
81-1	川口　奈緒美	管理栄養士	山口県	山口平成病院	寝たきりの経管栄養患者における体重維持を目的とした栄養量の検討
81-2	青木　楓	管理栄養士	神奈川県	介護老人福祉施設ヴィラ泉	特養併設デイサービス利用者の低栄養リスク状態と食生活状況の把握
81-3	市村　友幸	管理栄養士	兵庫県	特別養護老人ホームかおりの丘	特別養護老人ホーム入所者の入院要因となる栄養状態指標と ADL 指標の関連性
81-4	松本　莉花	管理栄養士	大阪府	千里リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病院入院患者の入院時体組成
81-5	池田　真優	管理栄養士	埼玉県	富家病院	GLIM 基準による栄養評価
81-6	清川　美香	管理栄養士	北海道	聖ヶ丘病院	GLIM 基準の導入から見えた当院の傾向と課題

第16会場（大阪国際会議場 12F 1202）

82　11月7日（金）　9:00～10:10　栄養管理③

【座　長】阿部沙耶香　札幌西円山病院　栄養部　部長　管理栄養士

【評価者】西岡奨太　　鳴門山上病院　診療協力部　リハビリテーション部門　主任　言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
82-1	羽田　桃歌	管理栄養士	北海道	愛全病院	回復期病棟における GLIM 評価の実践と課題～身体計測の現状と低栄養診断の活用を考える～
82-2	渡邉　きくの	管理栄養士	千葉県	富家千葉病院	GLIM 基準による栄養評価
82-3	吉本　愛	管理栄養士	大阪府	岸和田平成病院	「栄養一覧表」を用いた管理栄養士による栄養介入の提案
82-4	鳴坂　涼音	管理栄養士	兵庫県	神戸平成病院	管理栄養士だけのミールラウンドと比較した多職種でのミールラウンドが必要栄養量充足に与える影響
82-5	吉村　友紀	管理栄養士	鹿児島県	加治木温泉病院	介護医療院の利用者に対する経管栄養療法における栄養管理フローチャート導入による前後比較試験
82-6	金澤　ひかり	管理栄養士	東京都	多摩川病院	地域包括ケア病棟における管理栄養士の病棟常駐と栄養状態との関連について
82-7	阿江　優貴子	管理栄養士	兵庫県	九十九記念病院	療養病院における経腸栄養管理加算取得の体制整備と実践的意義

83　11月7日（金）　10:20～11:30　栄養管理④

【座　長】三橋直樹　鶴巻温泉病院　診療技術部　栄養科　係長　管理栄養士
【評価者】岡純子　　高良台リハビリテーション病院　臨床部　マネジャー　看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
83-1	阿出川　都	管理栄養士	東京都	世田谷記念病院	経管栄養患者における下痢発生率と栄養剤の関連
83-2	岩崎　三千代	管理栄養士	群馬県	みどり病院	乳酸菌飲料摂取による排便コントロールについて
83-3	木村　明佳	管理栄養士	兵庫県	園田病院	経腸栄養 600kcal による 2 回投与法が糖尿病患者の血糖変動および HbA1c に与える影響
83-4	松平　章吾	管理栄養士	兵庫県	中谷病院	慢性期褥瘡に対するコラーゲンペプチド含有栄養補助食品と半固形栄養の併用効果
83-5	關　由里子	管理栄養士	神奈川県	鶴巻温泉病院	慢性期多機能型病院における災害時食事提供の取り組み～停電・断水・ガス遮断の経験から～
83-6	五十嵐　麻子	管理栄養士	東京都	南多摩病院	当院の流動食 5 種類のメニューの見直しと集約に向けた取り組み報告
83-7	松尾　美紗瑛	管理栄養士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	食事摂取不良の患者に対しての赤色トレイの導入